

令和5年度

熊本市女性のつながりサポート事業

熊本市男女共同参画社会の実現に向けたアンケート調査
集計結果

- ・対象：熊本市在住、又は通勤・通学の女性
- ・アンケートの期間：令和5年10月13日～令和6年2月15日
- ・調査方法：web アンケート及び紙面アンケート
- ・回収したアンケート回答件数：2133件

第1章 アンケート調査概要

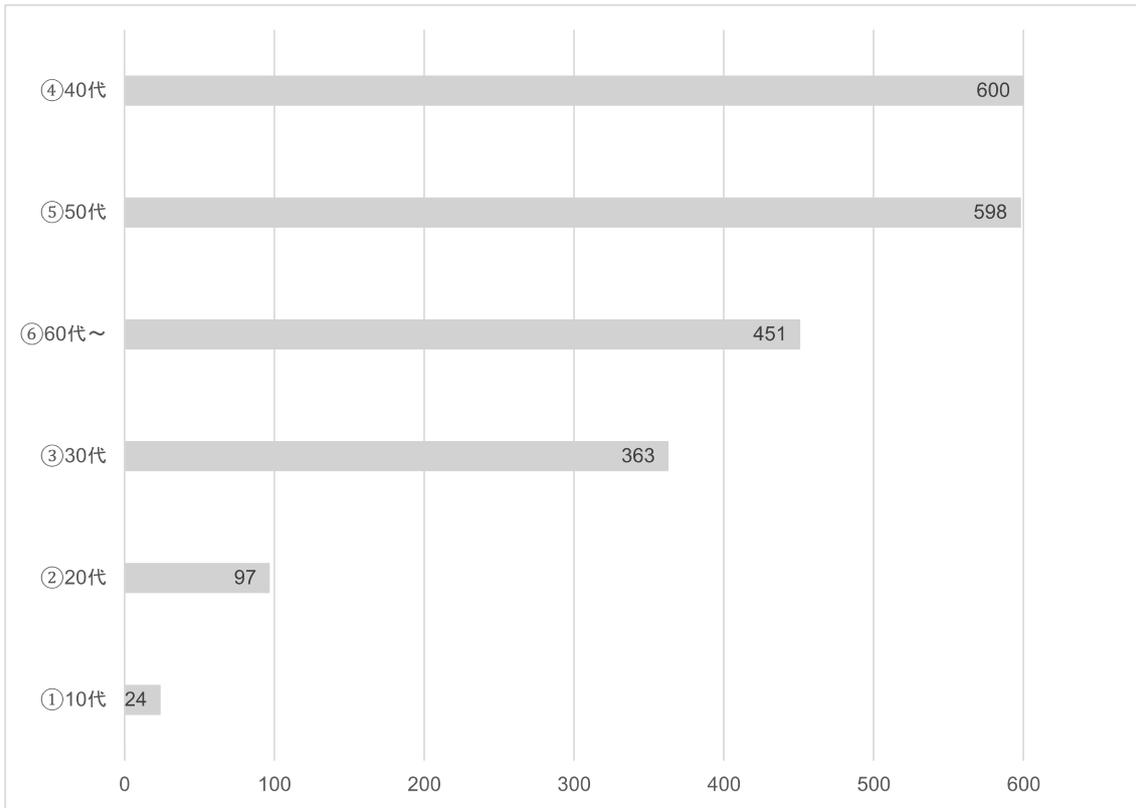
1.1. 調査結果（基本情報）

A) 回答者の基本属性

質問内容：年齢についておたずねします。（選択肢）

回答者のうち最も40代の方が多く、その割合は28.1%であった。続いて、50代が28%、60代が21.1%、30代が17%であった。

図表1 回答者の年代（n=2,133）

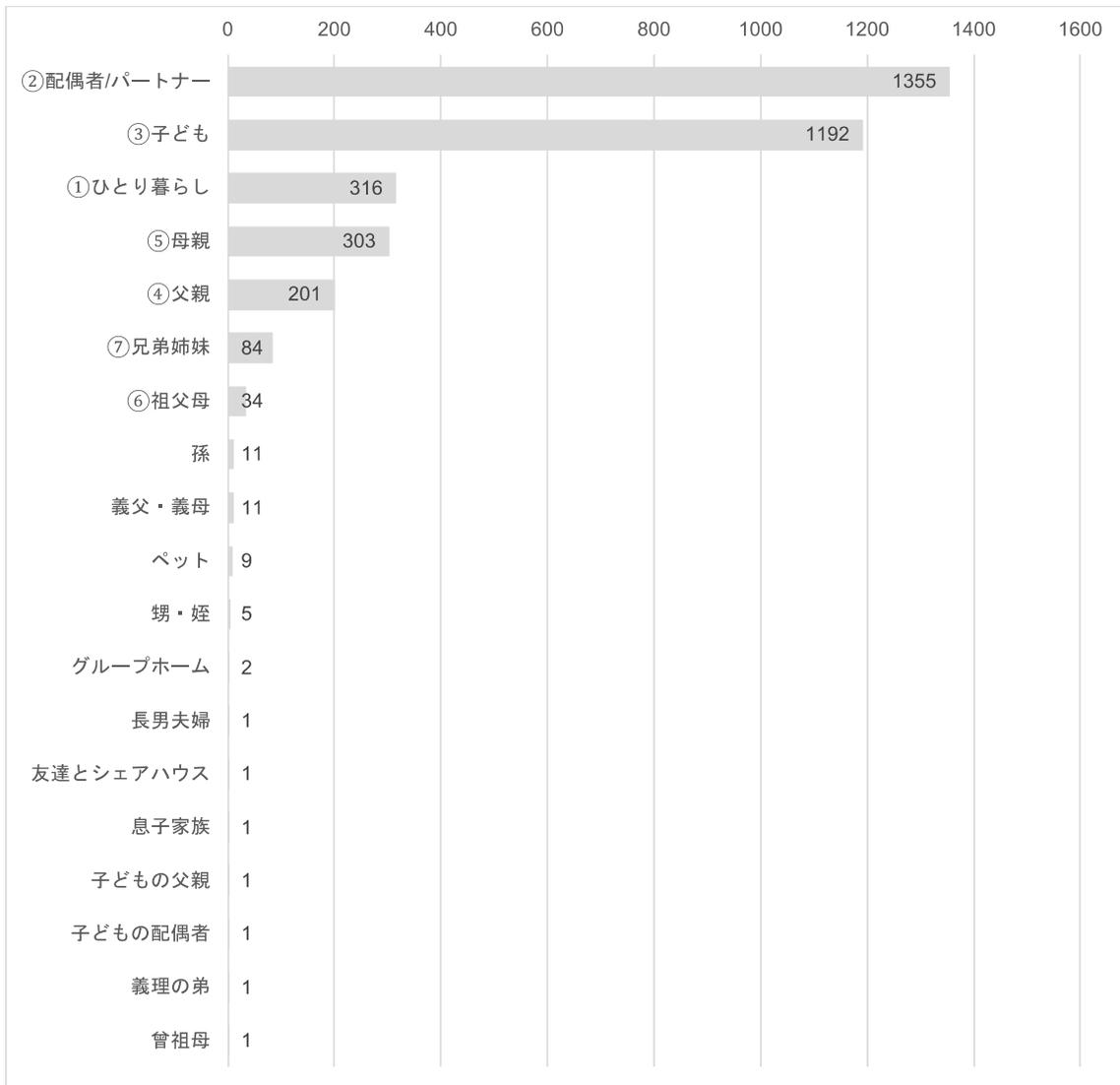


質問内容：同居している家族について当てはまるものを全て選んでください。

(選択肢・複数選択可)

回答者のうち最も配偶者/パートナーと同居している方が多く、その割合は63.4%であった。続いて、子どもとの同居が55.5%であった。回答者のうち、約半数の人が配偶者/パートナーまたは子どもとの同居をしていることがわかった。

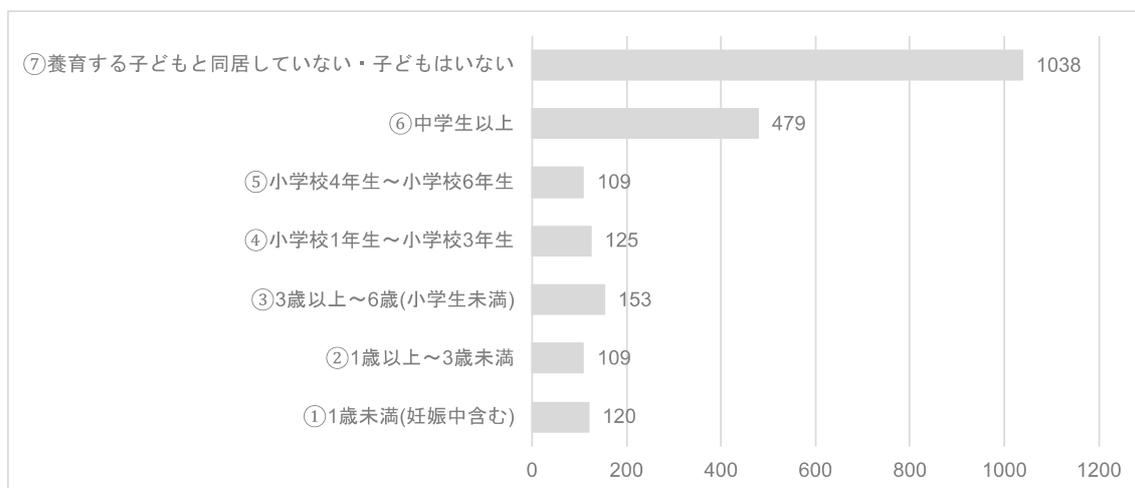
図表2 回答者の同居している家族について (n= 2,133)



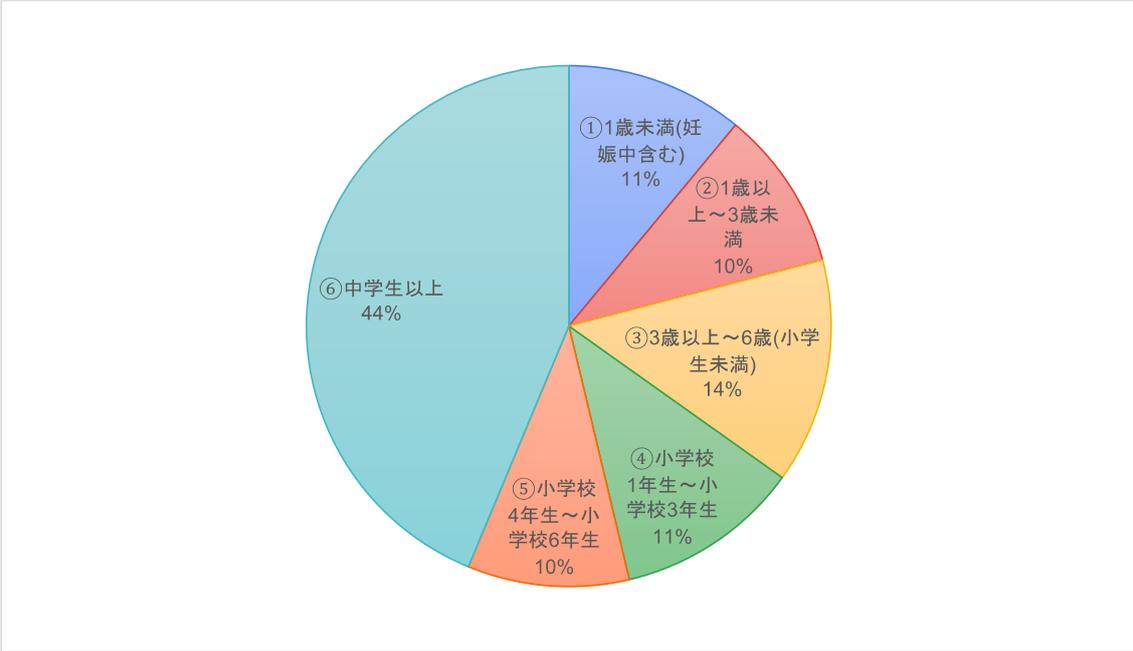
質問内容：現在、妊娠中もしくはご自身の養育する子どもと同居している方は、同居している子どもについて、最も年齢が低い人を教えてください。（選択肢・複数選択可）

全体の回答のうち最も多かったのが子供と同居していない、という回答であった。同居する子供の年齢について、最も回答が多かったのが中学生以上で44%であった。

図表3 同居する子供について (n= 2,133)



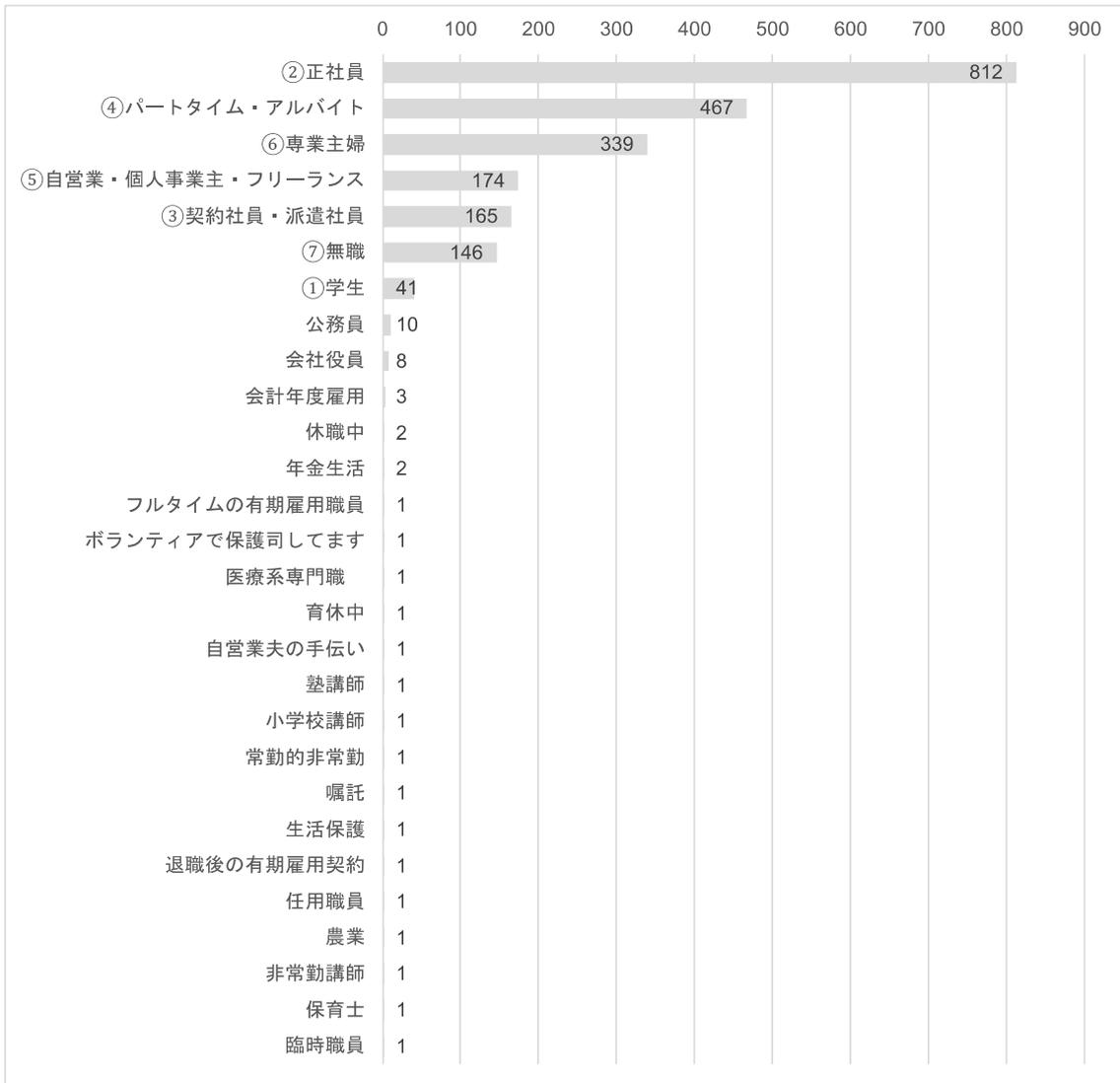
図表4 同居する子供の年代 (n= 1095)



質問内容：あなたの職業を教えてください。当てはまるものを全て選んでください。（選択肢・複数選択可）

回答者のうち最も多かったのが正社員であった。続いて、パートタイム・アルバイト、専業主婦、契約社員・派遣社員、自営業・個人事業主・フリーランス、無職、その他、学生であった。

図表5 職業について (n=2,133)



第2章 アンケート集計結果

2.1. 孤独・孤立感に関するアンケート

質問内容：以下の質問項目を読み、「①とてもそう思う ②そう思う ③どちらとも言えない ④そう思わない ⑤全くそう思わない」を回答に記入してください。

質問項目
Q1: 最近、孤独を感じる事がよくありますか？（選択肢） +可能であればその理由を教えてください。（自由記述）
Q2: 自分の心情を理解してくれる人はいますか？（選択肢） +可能であればその理由を教えてください。（自由記述）
Q3: 自分の思いを共有できる人はいますか？（選択肢） +可能であればその理由を教えてください。（自由記述）
Q4: 自分自身を社会から切り離されていると感じますか？（選択肢） +可能であればその理由を教えてください。（自由記述）
Q5: 自分の意見や感情が尊重されていると感じますか？（選択肢） +可能であればその理由を教えてください。（自由記述）
Q6: 頼りにできる人がいると感じますか？（選択肢） +可能であればその理由を教えてください。（自由記述）
Q7: 誰かに弱さを見せることができますか？（選択肢） +可能であればその理由を教えてください。（自由記述）
Q8: 自分自身の将来について希望を持つことができますか？（選択肢） +可能であればその理由を教えてください。（自由記述）

Q9: 自分がやっていること（仕事、趣味など）に意味や価値を感じますか？（選択肢）

+可能であればその理由を教えてください。（自由記述）

Q10: 自分自身の価値を感じることができますか？（選択肢）

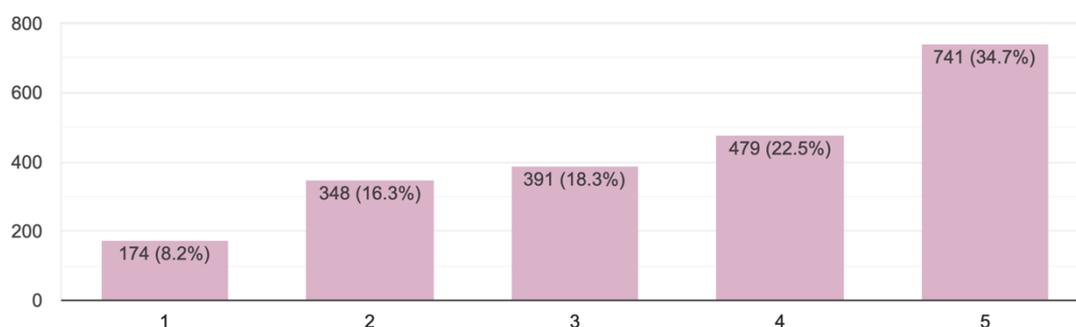
+可能であればその理由を教えてください。（自由記述）

Q1の回答結果

回答者のうち最も多かったのが5「全くそう思わない」で34.7%（n=741）であった。

図表6 回答Q1（n=2,133）

Q1: 最近、孤独・孤立感を感じる事がよくありますか？
2,133件の回答



Q1の理由に関する自由記述（n=886）を分析した結果

- 「1」を選んだ人は、自分の気持ちを話す相手がない、頼る場所がない、家族や友達との繋がりが切れたなどの理由で孤独を感じている。
- 「2」を選んだ人は、将来への不安、社会との関わりが少ない、パートナーや友人とのコミュニケーション不足などを理由に孤独を感じている。
- 「3」を選んだ人は、一人暮らし、職場での人間関係、家族以外との関

わりが少ないなど、状況によって孤独を感じたり/感じなかったりしている。

- 「4」を選んだ人は、**家族との関わりや仕事があるなど、ある程度の社会的なつながりはあるが、完全に満足していないようなニュアンスが見受けられる。**
- 「5」を選んだ人は、**家族や友人、職場の関係などが良好で、孤独を感じる事が少ないようである。**

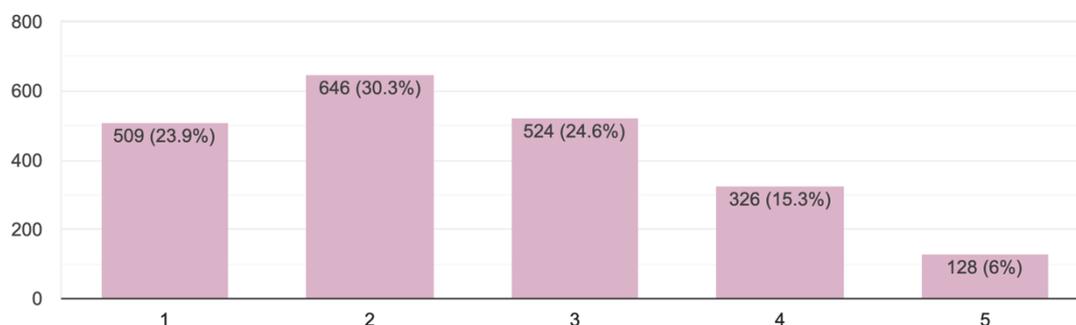
Q2 の回答結果

回答者のうち最も多かったのが2「そう思う」で30.3%（n=646）であった。

図表7 回答 Q2（n= 2,133）

Q2: 自分の心情を理解してくれる人はいますか？

2,133 件の回答



Q2 の理由に関する自由記述（n=774）を分析した結果

- 「1」を選んだ人は、親密な家族や友人が心情を理解してくれると感じている。
- 「2」を選んだ人も、信頼できる人がいると感じており、心情を共有できると考えている。
- 「3」を選んだ人は、時には理解してもらえるが、常にそうとは限らないという不確実性を感じている。
- 「4」を選んだ人は、ほとんどの場合で自分の心情を理解してくれる人

がないと感じている。

- 「5」を選んだ人は、自分の心情を理解してくれる人がいないと強く感じている。

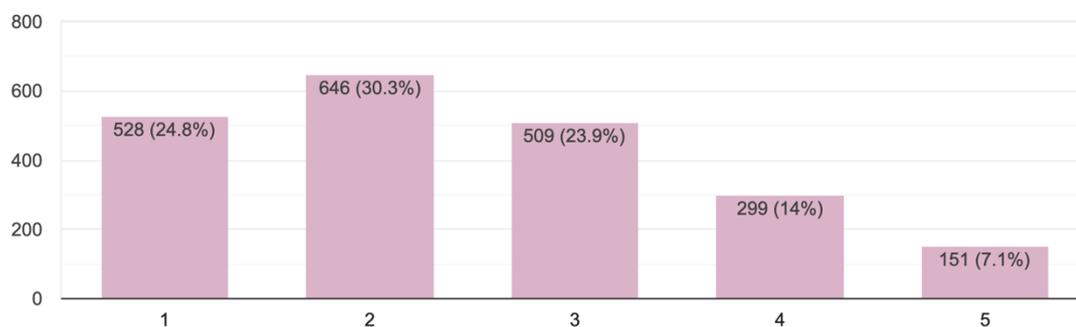
Q3 の回答結果

回答者のうち最も多かったのが2「そう思う」で30.3%（n=646）であった。

図表 8 回答 Q3（n= 2,133）

Q3: 自分の思いを共有できる人はいますか？

2,133 件の回答



Q3 の理由に関する自由記述（n=489）を分析した結果

- 「1」を選んだ人は、家族や友人、パートナーなど、信頼できる人がいると感じている。
- 「2」を選んだ人は、信頼できる人がいるものの、完全には心を開けていないようである。
- 「3」を選んだ人は、一部の思いを共有できる人はいるが、完全に理解してもらえているとは感じていないようである。
- 「4」を選んだ人は、自分の思いを共有できる人がいない、または話せ

る人が少ないと感じている。

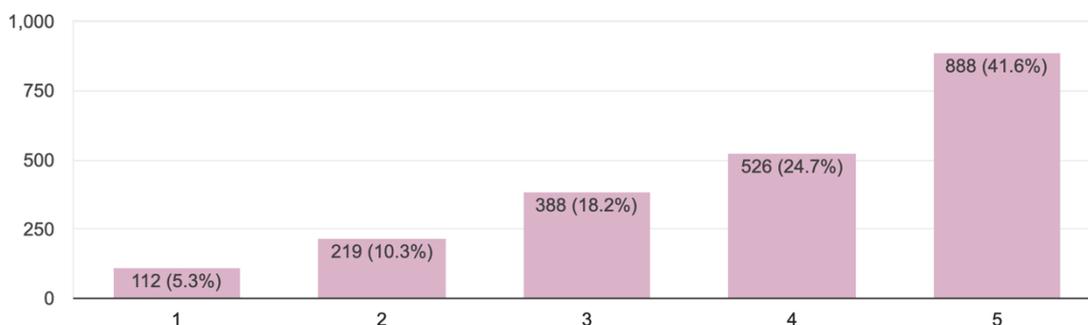
- 「5」を選んだ人は、誰にも自分の思いを共有できないと感じている。

Q4 の回答結果

回答者のうち最も多かったのが5「全くそ思わない」で41.6%（n=888）であった。

図表9 回答 Q4（n= 2,133）

Q4: 自分自身を社会から切り離されていると感じますか？
2,133 件の回答



Q4 の理由に関する自由記述（n=644）を分析した結果

- 「1」を選んだ人は、持病や育児、仕事のない状況など、特定の個人的な理由により社会から切り離されていると感じている。
- 「2」を選んだ人は、一人でいる時間が多い、社会的なつながりが少ない、仕事をしていないなどの理由で、ある程度の疎外感を感じている。
- 「3」を選んだ人は、社会との繋がりをある程度感じつつも、完全に満

足しているわけではないという複雑な感情を持っている。

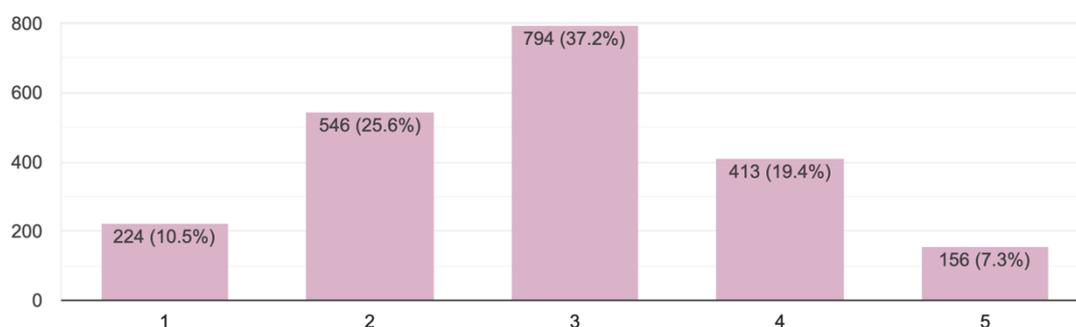
- 「4」を選んだ人は、仕事をしているものの、社会と深く繋がっているとは感じていない人が多いようである。
- 「5」を選んだ人は、仕事、家族、趣味などを通じて、社会と繋がっていると感じている人が多い。

Q5 の回答結果

回答者のうち最も多かったのが3「どちらでもない」で37.2% (n=794) であった。

図表 10 回答 Q5 (n= 2,133)

Q5: 自分の意見や感情が尊重されていると感じますか?
2,133 件の回答



Q5 の理由に関する自由記述 (n=441) を分析した結果

- 「1」を選んだ人は、自分が尊重されない環境からは離れる、夫が優しい、友達が理解してくれる、自分の希望を周りが理解してくれるなど、ポジティブな関係を持っていることが多い。
- 「2」を選んだ人は、基本的に否定されることが多い、自分の意見を言える、気の合わない人もいるが互いを大切にしている、話せばわかってくれる人がいるなど、ある程度は理解を得られているが、完全では

ないことを示している。

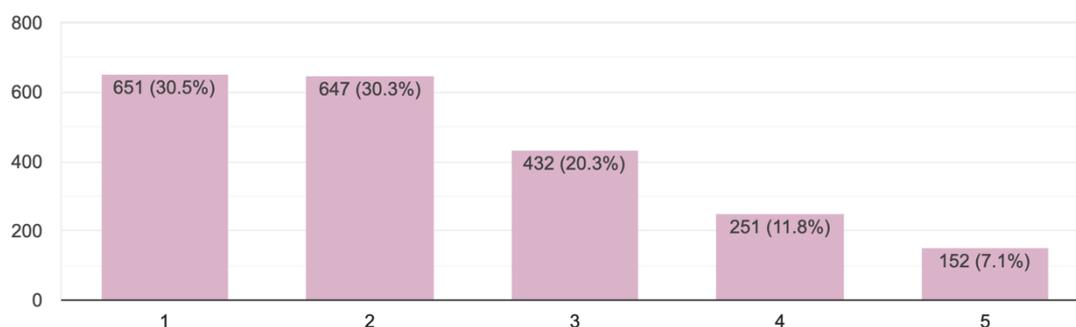
- 「3」を選んだ人は、プライベートでは尊重されているが仕事ではそうでない、尊重されることもあればそうでないこともあるなど、**環境や状況によって尊重されている感じが異なる**と回答している。
- 「4」を選んだ人は、日々の暮らしで他人のために振り回され、自分の時間や感情を出す時間がない、困り事を訴えても真剣に受け止められないなど、**自分の意見や感情が尊重されていない**と感じている。
- 「5」を選んだ人は、自分が周りを尊重すれば良い、自分の意思でなく相手に合わせてしまう、生活するためには感情を抑えて働かなければならないなど、**自分の意見や感情が尊重されていない**と感じている。

Q6 の回答結果

回答者のうち最も多かったのが1「とてもそう思う」で30.5%（n=651）であった。

図表 11 回答 Q6（n= 2,133）

Q6: 頼りにできる人がいると感じますか？
2,133 件の回答



Q6 の理由に関する自由記述（n=510）を分析した結果

- 「1」を選んだ人は、**家族、配偶者、親友など、身近な人に支えられていると感じ、これらの人々が頼りになる存在であると述べている。**
- 「2」を選んだ人は、**心を開いて話せる友人や配偶者、家族や古くからの友人、親など、特定の人物やグループに部分的に頼っているが、全面的には頼っていないと答えている。**
- 「3」を選んだ人は、**状況や時と場合によって頼りにできる人がいたり**

/いなかったりすると感じ、時と場合による、どちらとも言えないなど、支援関係の不確実性を示している。

- 「4」を選んだ人は、頼りにできる人が少ない、または具体的に頼れる人がいないと感じ、支援不足を表している。
- 「5」を選んだ人は、頼れる家族や親戚がいない、誰にも相談できないと感じており、強い孤立感や社会との断絶を感じている。生活のために働いているから親身になる人はいない、将来がとても不安など、社会的な繋がりや不安を感じている様子が見受けられる。

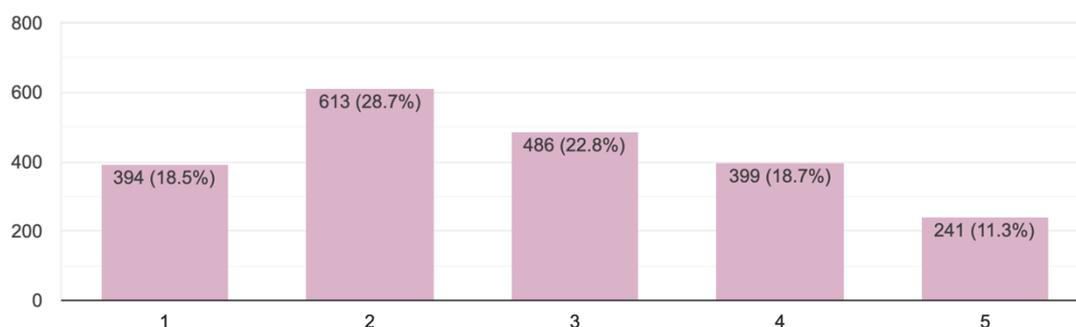
Q7 の回答結果

回答者のうち最も多かったのが2「そう思う」で28.7%（n=613）であった。

図表 12 回答 Q7（n= 2,133）

Q7: 誰かに弱さを見せることができますか？

2,133 件の回答



Q7 の理由に関する自由記述（n=473）を分析した結果

- 「1」を選んだ人は、通常、なんでも話せる人がいる、家族や友人が支えとなっている、カウンセリングを受けて改善しているなど、**信頼できる相手がいるために弱さを見せられると感じている。**
- 「2」を選んだ人は、家族や特定の友人には弱さを見せることができるが、他人には見せたくない、**限定的に弱さを見せることができる**と回答している。
- 「3」を選んだ人は、基本的に見せない性格だが、職場の人には話せ

る、家族には見せられるが他人には見せられない、自分で解決することが多いなど、状況に応じて弱さを見せることがあるようだ。

- ▶ 「4」を選んだ人は、本当の弱い部分は見せられていない、人を頼ることが苦手、信用できる人が少ないなど、弱さを見せることに抵抗があり、あまり見せたくないと感じている。
- ▶ 「5」を選んだ人は、人に弱みを見せたくない、他に頼れる人がいない、子供の頃から負けず嫌いで弱みを見せるのが嫌、自分の弱さを否定されそうだから、仕事の立場上弱い所は見せられないなど、弱さを見せることができないか、そうしたくない強い理由があると回答している。

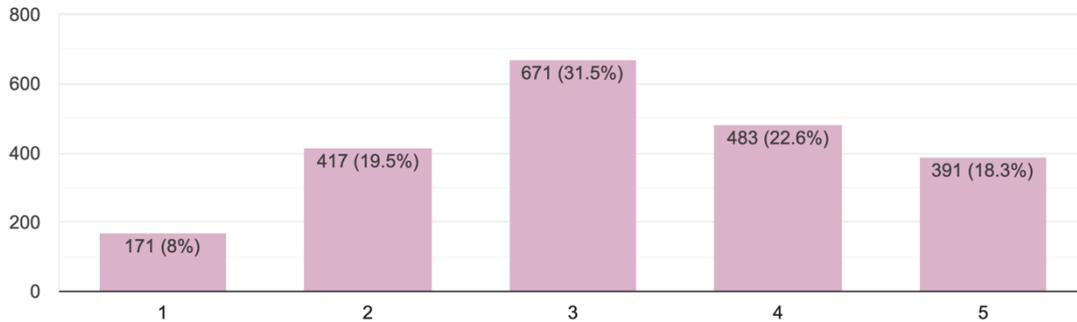
Q8 の回答結果

回答者のうち最も多かったのが3「どちらでもない」で31.5% (n=671) であった。

図表 13 回答 Q8 (n= 2,133)

Q8: 自分自身の将来について希望を持つことができますか？

2,133 件の回答



Q8 の理由に関する自由記述 (n=633) を分析した結果

- 「1」を選んだ人は、現在良い状況にある、良い仕事がある、ポジティブな人間関係があるなど、現状の良好さに基づいて将来に希望を感じている。
- 「2」を選んだ人は、将来に向けてやりたいことがある、希望を持たなければやっていけないなど、何か目指すものがあり、それに向かっていくために希望を持っている。
- 「3」を選んだ人は、経済的な不安、健康の問題、将来の不確実性などから、希望と不安が混在している。
- 「4」を選んだ人は、経済的な問題、健康上の懸念、仕事や社会情勢に対する不安から、将来に対してあまり希望を持っていない。

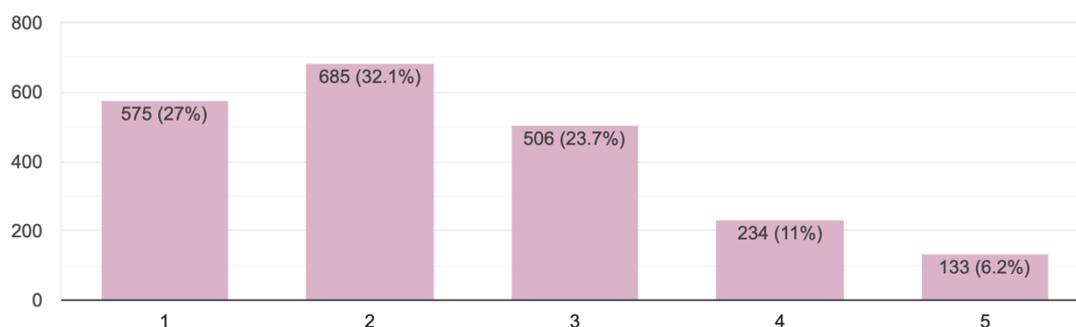
- 「5」を選んだ人は、経済的な余裕がない、社会や政治への不安、健康問題など、深刻な懸念から将来に対して希望を持っていない状態である。

Q9 の回答結果

回答者のうち最も多かったのが3「どちらでもない」で32.1% (n=685) であった。

図表 14 回答 Q9 (n= 2,133)

Q9: 自分がやっていること（仕事、趣味など）に意味や価値を感じますか？
2,133 件の回答



Q9 の理由に関する自由記述 (n=480) を分析した結果

- 「1」を選んだ人は、仕事では人の役に立ち、お客様からの感謝を受けることで大きな満足を得ており、自分の好きなことを生業としているため、生活に深い意味と価値を感じている。
- 「2」を選んだ人は、仕事には一定のやりがいを感じているものの、プライベートの時間が不足しており、趣味と仕事のバランスに課題を感じる一方で、小さな幸せや達成感を見出している。

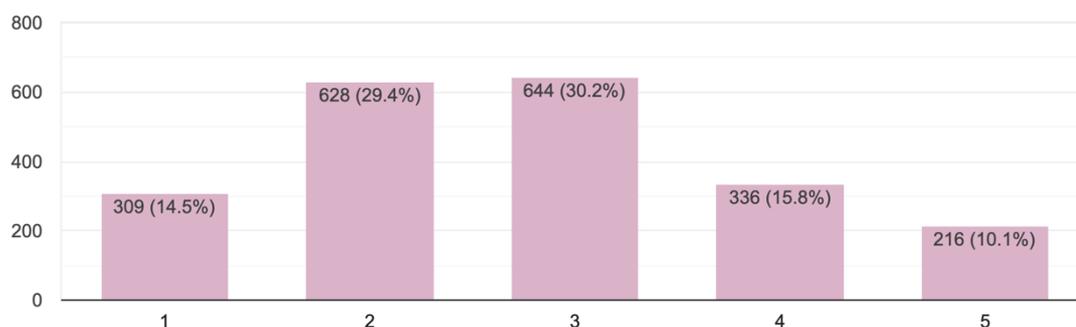
- 「3」を選んだ人は、日常の家事や子育てに価値を見出しつつも、本来の趣味や自分だけの時間が取れずにいる状況で、生活に対して複雑な感情を持っている。
- 「4」を選んだ人は、仕事を生活のためだけにしていると感じており、自分の時間がないことや他にやりたいことがあるものの、現状から抜け出せずにいる。
- 「5」を選んだ人は、社会的な意味や価値を感じていないと明確に述べており、仕事や趣味に対して消極的で、日々を生活の義務で過ごしていると感じている。

Q10 の回答結果

回答者のうち最も多かったのが3「どちらでもない」で30.2%（n=644）であった。

図表 15 回答 Q10 (n= 2,133)

Q10: 自分自身の価値を感じることができますか？
2,133 件の回答



Q10 の理由に関する自由記述 (n=442) を分析した結果

- 「1」を選んだ人は、自身の存在や行動が家族や社会に大きな影響を与えていると感じ、自己肯定感が高い。特定の信念や宗教に支えられている場合もある。
- 「2」を選んだ人は、周囲の人々からの必要とされている感、感謝されることで価値を感じている。家族や職場での役割、社会貢献活動により自己の価値を認識している。

- 「3」を選んだ人は、自己の価値について確信が持てず、日々の役割や貢献によって感じ方が変動。他人からの評価や現在の状況によって自己価値の感じ方が変わる。
- 「4」を選んだ人は、自分の存在や働きに価値を見出せず、他人や社会からの評価が低いと感じる。生活のための仕事、社会的地位の低さ、自己肯定感の低さから価値を感じにくい。
- 「5」を選んだ人は、自身には価値がないと強く感じ、生活や社会に対して消極的。精神的な苦しみや孤立感、社会的承認の欠如から自己の存在意義を見出せない状態にある。

2.2. 孤独・孤立感を感じる場面に関するアンケート

質問内容：以下の質問項目を読み、「①とてもそう思う ②そう思う ③どちらとも言えない ④そう思わない ⑤全くそう思わない」を回答に記入してください。

質問項目
Q1: 一人で食事をしている時、孤独・孤立感を感じますか？（選択肢） +可能であればその理由を教えてください。（自由記述）
Q2: 一人で自宅にいる時、孤独・孤立感を感じますか？（選択肢） +可能であればその理由を教えてください。（自由記述）
Q3: 他の人と比べて自分だけが何かを持っていないと感じる時、孤独・孤立感を感じますか？（選択肢） +可能であればその理由を教えてください。（自由記述）
Q4: 夜一人で過ごしている時、孤独・孤立感を感じますか？（選択肢） +可能であればその理由を教えてください。（自由記述）
Q5: SNS で他人の活動や成功を見る時、孤独・孤立感を感じますか？（選択肢） +可能であればその理由を教えてください。（自由記述）
Q6: 友人や同僚と会話をしていても、自分だけが理解されていないと感じる時、孤独・孤立感を感じますか？（選択肢） +可能であればその理由を教えてください。（自由記述）
Q7: 自分の意見や感情を他人に打ち明けられない時、孤立感を感じますか？（選択肢） +可能であればその理由を教えてください。（自由記述）
Q8: 人混みの中にいる時でも、孤立・孤立感を感じますか？（選択肢） +可能であればその理由を教えてください。（自由記述）

Q9: 重要な決定を自分一人で下さなければならない時、孤立感を感じますか？（選択肢）

+可能であればその理由を教えてください。（自由記述）

Q10: 自分が困っている時、援助を求めることができる人がいないと感じる時、孤立感を感じますか？（選択肢）

+可能であればその理由を教えてください。（自由記述）

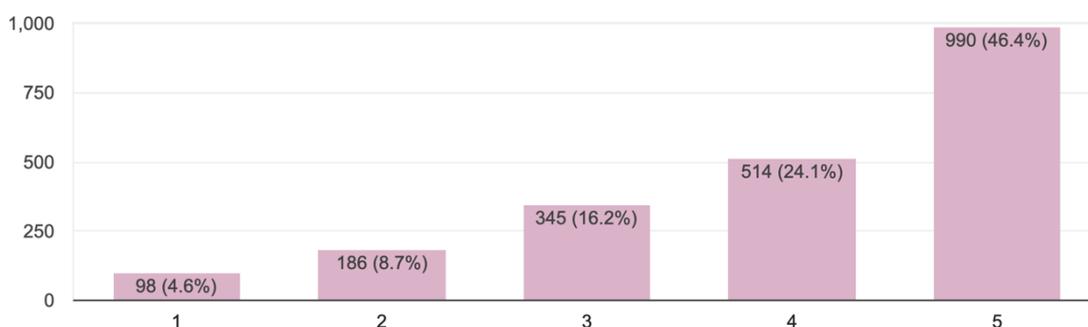
Q1 の回答結果

回答者のうち最も多かったのが5「全くそう思わない」で46.4%（n=990）であった。

図表 16 回答 Q1 (n= 2,133)

Q1: 一人で食事をしている時、孤独・孤立感を感じますか？

2,133 件の回答



Q1 の理由に関する自由記述 (n=446) を分析した結果

- 「1」を選んだ人は、人と話せないから、または共有する人がいないために孤独感を感じ、食事そのものが孤独で苦痛であると感じている。
- 「2」を選んだ人は、一人の食事が味気ないと感じるが、一人の時間がほとんどであることに慣れている人もいる。
- 「3」を選んだ人は、子どもがいない時は一人で食事が普通だと感じるが、できれば一人で食事したくないと感じる人もいる。孤独感を感じ

ることもあれば、感じないこともある。

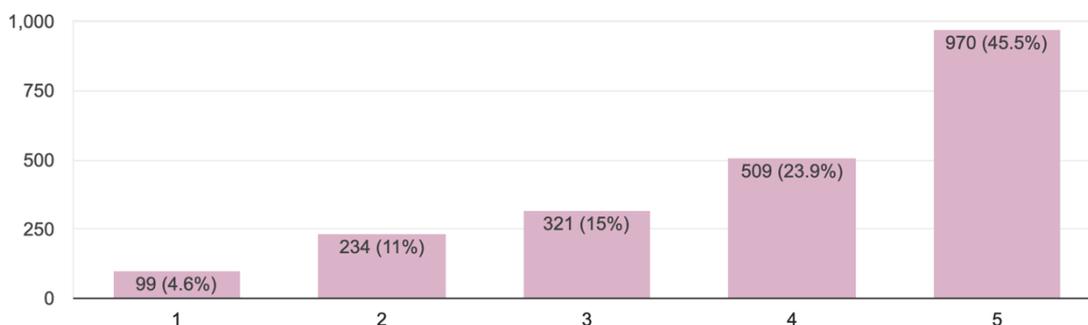
- 「4」を選んだ人は、時々一人で食事をするを楽しんでおり、一人の時間が必要だと感じている人がいる。家族と一緒に食事することが多いが、一人の時間も楽しめるという意見がある。
- 「5」を選んだ人は、一人で食事することを日常と捉え、自分のペースで食べられることを好む人が多い。ひとりの時間を楽しんでおり、自由であると感じている人が多い。

Q2 の回答結果

回答者のうち最も多かったのが5「全くそう思わない」で45.5%（n=970）であった。

図表 17 回答 Q2（n= 2,133）

Q2: 一人で自宅にいる時、孤独・孤立感を感じますか？
2,133 件の回答



Q2 の理由に関する自由記述（n=469）を分析した結果

- 「1」を選んだ人は、家族がいないと非常に寂しく、一生一人で過ごさなければならないと思うと、人生が終わるのを待っているような気持ちになる。孤独と虚しさを強く感じている。
- 「2」を選んだ人は、一人でいることが多く、通常は平気だが、無音の環境や特定の状況では孤独感を感じることもある。友達作りが苦手です、しばしば寂しさを感じる。

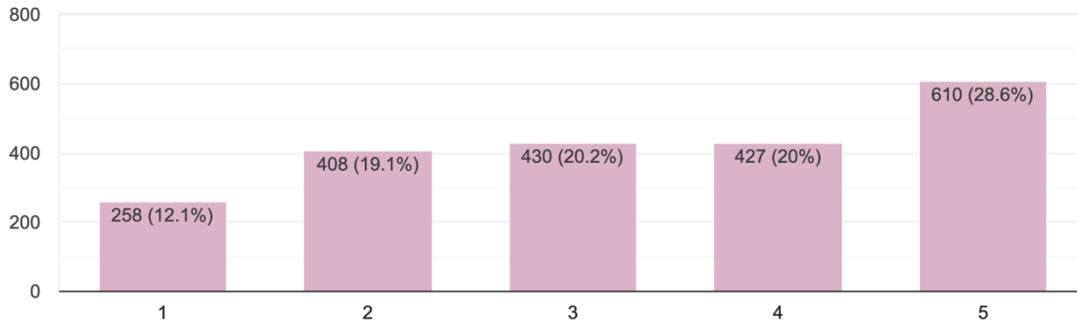
- ▶ 「3」を選んだ人は、一人でいる時間が多いが、時々孤独を感じることもある。しかし、家事などの活動をしている時は気にならないことが多い。
- ▶ 「4」を選んだ人は、一人の時間が必要であり、たまに家族から離れて一人になるのを楽しんでいる。しかし、時々孤独を感じる場合もあるが、一人でできる趣味や活動に満足している。
- ▶ 「5」を選んだ人は、一人の時間を楽しんでおり、自宅でやることがたくさんあるため、忙しい。一人が自由で、ストレスがなく、リラックスできると感じている人が多い。

Q3 の回答結果

回答者のうち最も多かったのが5「全くそう思わない」で 28.6% (n=610) であった。

図表 18 回答 Q3 (n= 2,133)

Q3: 他の人と比べて自分だけが何かを持っていないと感じる時、孤独・孤立感を感じますか？
2,133 件の回答



Q3 の理由に関する自由記述 (n=386) を分析した結果

- 「1」を選んだ人は、他人と自分との差を強く感じ、それが原因で孤独や孤立感を強く感じる。特に、周囲が持っている幸せや物質的なものが自分にはないと感じると、その差異から孤独感を感じるようである。
- 「2」を選んだ人は、他人との比較からくる劣等感や不足感があり、特に他人が持っているものを自分が持っていないと感じる時に孤独や孤立を感じている。
- 「3」を選んだ人は、焦燥感はあるが、孤独感よりは強くない。人と比べることでマイナス面に目を向けがちだが、他人と自分は違うと割り切ることで感情をコントロールしているようである。

- 「4」を選んだ人は、悔しさや残念さは感じるが孤独ではない。人それぞれ異なると理解しているため、持っていないものがあったとしても孤独とは感じないと回答している。

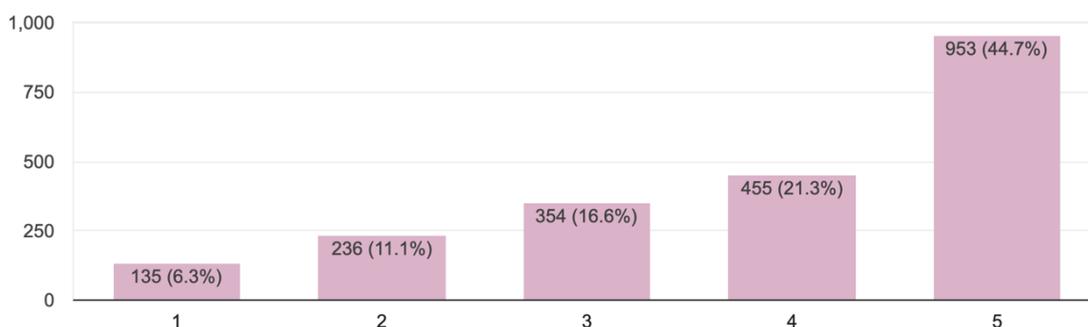
- 「5」を選んだ人は、悔しさや残念さは感じるが孤独ではない。人それぞれ異なると理解しているため、持っていないものがあったとしても孤独とは感じないと回答している。

Q4 の回答結果

回答者のうち最も多かったのが5「全くそう思わない」で44.7%（n=954）であった。

図表 19 回答 Q4 (n= 2,133)

Q4: 夜一人で過ごしている時、孤独・孤立感を感じますか？
2,133 件の回答



Q4 の理由に関する自由記述 (n=344) を分析した結果

- 「1」を選んだ人は、夜一人でいると非常に寂しく感じ、特に大切な人を失った後の夜は孤独感が増すと感じている。
- 「2」を選んだ人は、夜一人でいると寂しさを感じやすく、特にテンションが下がりやすい夜に孤独感を感じることもあると回答している。
- 「3」を選んだ人は、常に家族と一緒にいるわけではないが、一人でいることに慣れている。寂しさを感じることはあるが、必ずしも孤独を

感じるわけではないと回答している。

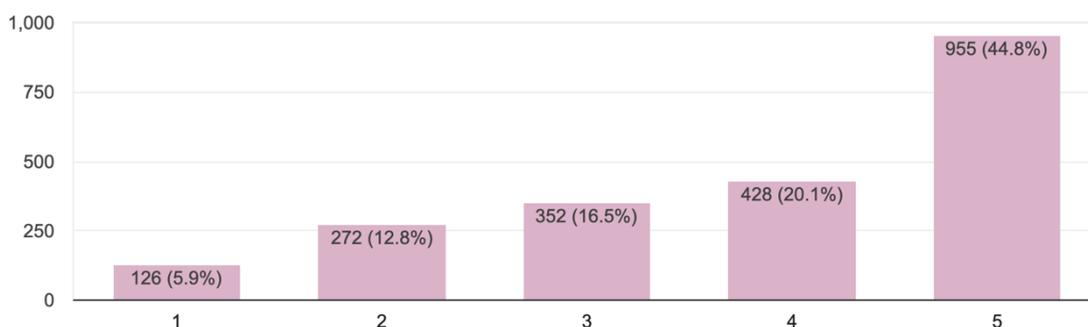
- 「4」を選んだ人は、一人の時間を楽しむことができ、一人であることを好むが、たまには寂しさを感じることもあると回答している。
- 「5」を選んだ人は、一人の時間を楽しんでおり、家族と一緒にいることが多いため、孤独を感じることは少ない。一人でいることが忙しさからの解放と感じ、一人が好きだという人が多い。

Q5 の回答結果

回答者のうち最も多かったのが5「全くそう思わない」で44.8%（n=955）であった。

図表 20 回答 Q5 (n= 2,133)

Q5: SNSで他人の活動や成功を見る時、孤独・孤立感を感じますか？
2,133 件の回答



Q5 の理由に関する自由記述 (n=431) を分析した結果

- 「1」を選んだ人は、SNSで他人の成功や活動を見ると、自分と比べてしまい、自分の足りなさを感じ、孤独や孤立感を強く感じている。
- 「2」を選んだ人は、他人の成功を見て、自分と比較してしまい、羨ましく感じることもあり、その結果、孤独や孤立感を覚えることもあるという人がいる。
- 「3」を選んだ人は、他人の成功を見て、時には羨ましいと感じるが、

それが直接孤独や孤立感につながるわけではないと回答している。

- 「4」を選んだ人は、他人と自分を比べることは少なく、他人の成功に対して羨ましいと思うことはあるものの、それが孤独や孤立感に直結することはないと述べている。
- 「5」を選んだ人は、他人は他人と割り切っており、自分とは無関係だと感じる人が多い。自分自身も頑張っているから、と、他人と比較せず、自分のペースで生活を楽しんでいる。

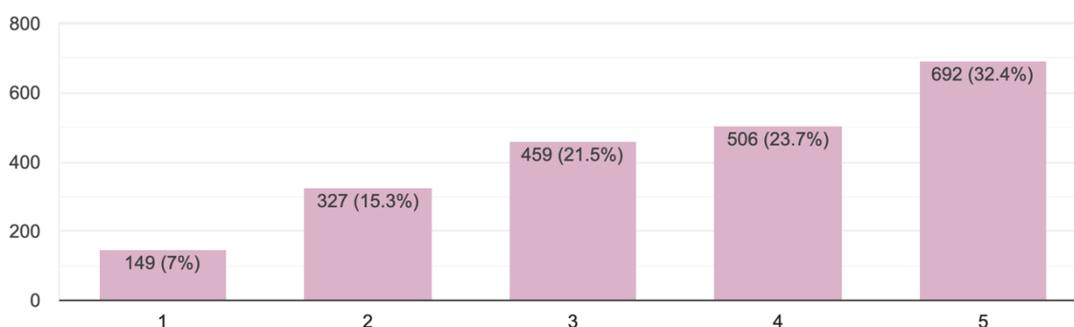
Q6 の回答結果

回答者のうち最も多かったのが5「全くそう思わない」で 32.4%（n=692）であった。

図表 21 回答 Q6（n= 2,133）

Q6:

友人や同僚と会話をしていても、自分だけが理解...いないと感じる時、孤独・孤立感を感じますか？
2,133 件の回答



Q6 の理由に関する自由記述（n=299）を分析した結果

- 「1」を選んだ人は、自分が理解されていないと感じ、集団の中で自分だけが浮いていると感じることが多い。このような状況を想像するだけでも辛いと述べている。
- 「2」を選んだ人は、自分が集団の中で孤立していると感じたり、寂しさを感じることもあると回答している。しかし、全員に理解されることを期待せず、自己尊重を大切にしているという人もいる。

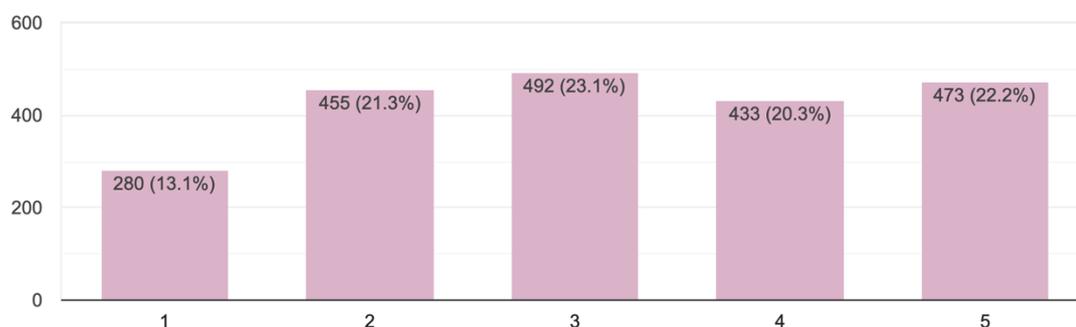
- 「3」を選んだ人は、理解されないことをそれほど重く受け止めていないようで、人それぞれの考え方があり、それを尊重する姿勢を見せている。人とは異なる価値観や問題を抱えていることを認識している。
- 「4」を選んだ人は、他人と自分は異なる存在であり、理解されなくてもそれほど問題にしていない。仕事や社会生活において、理解されるよりも実用的なコミュニケーションを重視する傾向がある。
- 「5」を選んだ人は、自分が理解されないことに対して全く問題視しておらず、自分は自分と割り切っている。他人の理解を特に求めておらず、友達との関係では理解しあえている人を大切にし、それ以外の人に理解されなくても気にならないという意見が目立つ。

Q7 の回答結果

回答者のうち最も多かったのが3「どちらとも言えない」で23.1%（n=492）であった。

図表 22 回答 Q7（n= 2,133）

Q7: 自分の意見や感情を他人に打ち明けられない時、孤立感を感じますか？
2,133 件の回答



Q7 の理由に関する自由記述（n=284）を分析した結果

- 「1」を選んだ人は、自分が理解されていないと感じ、集団の中で自分だけが浮いていると感じることが多い。このような状況を想像するだけでも辛いと述べている。
- 「2」を選んだ人は、自分が集団の中で孤立していると感じたり、寂しさを感じることもあると回答している。しかし、全員に理解されることを期待せず、自己尊重を大切にしているという人もいる。

- 「3」を選んだ人は、理解されないことをそれほど重く受け止めていないようで、人それぞれの考え方があり、それを尊重する姿勢を見せている。人とは異なる価値観や問題を抱えていることを認識している。
- 「4」を選んだ人は、他人と自分は異なる存在であり、理解されなくてもそれほど問題にしていない。仕事や社会生活において、理解されるよりも実用的なコミュニケーションを重視する傾向がある。
- 「5」を選んだ人は、自分が理解されないことに対して全く問題視しておらず、自分は自分と割り切っている。他人の理解を特に求めておらず、友達との関係では理解しあえている人を大切に、それ以外の人に理解されなくても気にならないという意見が目立つ。

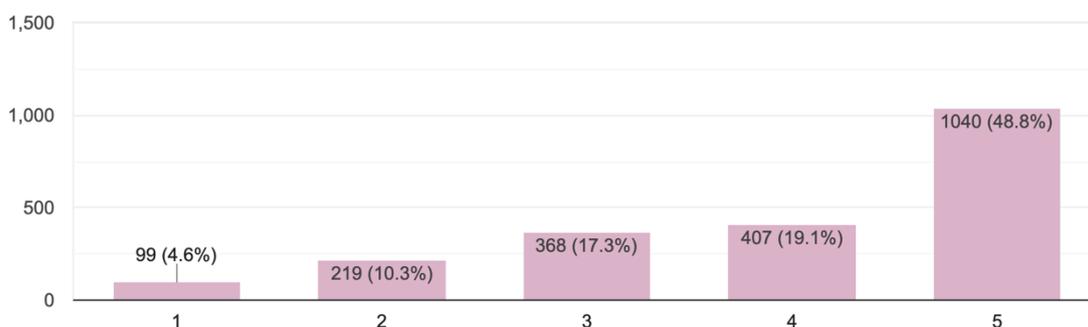
Q8 の回答結果

回答者のうち最も多かったのが5「全くそう思わない」で48.8%（n=1040）であった。

図表 23 回答 Q8 (n= 2,133)

Q8: 人混みの中にいる時でも、孤立・孤立感を感じますか？

2,133 件の回答



Q8 の理由に関する自由記述 (n=218) を分析した結果

- 「1」を選んだ人は、人混みが苦手で、周りの人と打ち解けられないと感じることが多く、一人の時は特に心細く感じると述べる人もいます。
- 「2」を選んだ人は、繁華街など人混みにいても、自分だけがうまくいっていないと感じたり、知り合いがいないと孤独を感じることもあると述べています。
- 「3」を選んだ人は、人混みにいることが少ない、あるいは周りは他人

であるため特に孤立感を感じないと回答している。しかし、たまに一人で買い物をしているときに周りが複数で行動しているのを見て孤立感を感じることもあるようだ。

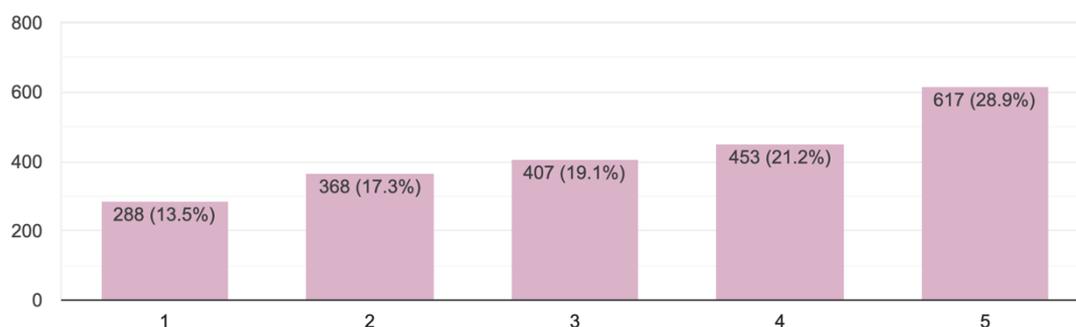
- 「4」を選んだ人は、人混みの中で孤独を感じることは少ないが、一人で行動することが多い、あるいは人混みが苦手だが孤立感は特に感じないという意見が目立つ。
- 「5」を選んだ人は、人混みにいても特に孤立感を感じないと回答している。理由としては、人混みが好きであったり、目的があって人混みにいるからであったり、単に人混みにいかないからであるなどが挙げられる。

Q9 の回答結果

回答者のうち最も多かったのが5「全くそう思わない」で28.9%（n=617）であった。

図表 24 回答 Q9（n= 2,133）

Q9: 重要な決定を自分一人で下さなければならない時、孤立感を感じますか？
2,133 件の回答



Q9 の理由に関する自由記述（n=324）を分析した結果

- 「1」を選んだ人は、誰にも相談できない状況が不安であり、特に子どもや家庭の大事なことを一人で決めなければならない時、孤立を深く感じると回答している。
- 「2」を選んだ人は、大きな決断を一人で下すことには危険を感じ、誰かと相談したいという気持ちがあるが、最終的には自分の判断で決めている。相談相手がない場合や、自分一人で決断することの負担は

感じるが、孤立感とは必ずしも直結しないと述べている。

- ▶ 「3」を選んだ人は、重要な決定を下す際に孤立感を感じることはあるが、自身の判断を信じるということも多いようである。
- ▶ 「4」を選んだ人は、重要な決定をする際には責任感と優柔不断になるが、孤立感はないと感じている。決定をすること自体には慣れており、自分のことなので自分で決めるべきだと考えている。負担は感じるが、孤立感とは認識していない。
- ▶ 「5」を選んだ人は、重要な決定を一人で下さなければならない状況を特に問題とは思っておらず、孤立感を感じていない。これまでの経験から一人で決断を下すことに慣れており、自分で決める責任と自立を重視している。

Q10 の回答結果

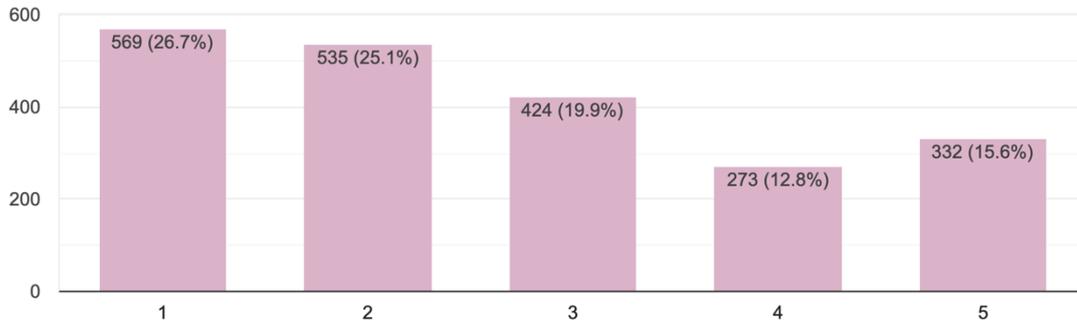
回答者のうち最も多かったのが1「とてもそう思う」で26.7% (n=569) であった。

図表 25 回答 Q10 (n= 2,133)

Q10:

自分が困っている時、援助を求められる人がいないと感じる時、孤立感を感じますか？

2,133 件の回答



Q10 の理由に関する自由記述 (n=324) を分析した結果

- 「1」を選んだ人は、困っている時に頼れる人がいないと感じると強く孤立感を感じ、支援や助けを必要としている状況で特に顕著になると回答している。
- 「2」を選んだ人は、援助を求められる人がいないと感じた時、ある程度の孤立感を抱くが、それでも数少ない支援の可能性を模索しようとすると回答している。
- 「3」を選んだ人は、困っている時に援助を求め人がいない状況を経験することは少なく、そのため孤立感を感じるかどうかは状況によって異なるようである。
- 「4」を選んだ人は、自身で解決しようとする傾向が強く、困っている

時でも他人に頼ることをそもそもあまり考えないため、孤立感をあまり感じないと回答している。

- 「5」を選んだ人は、自分の問題は自分で解決することに慣れており、困っている時に援助を求めることができる人がいないとしても、孤立感を感じることはないようである。

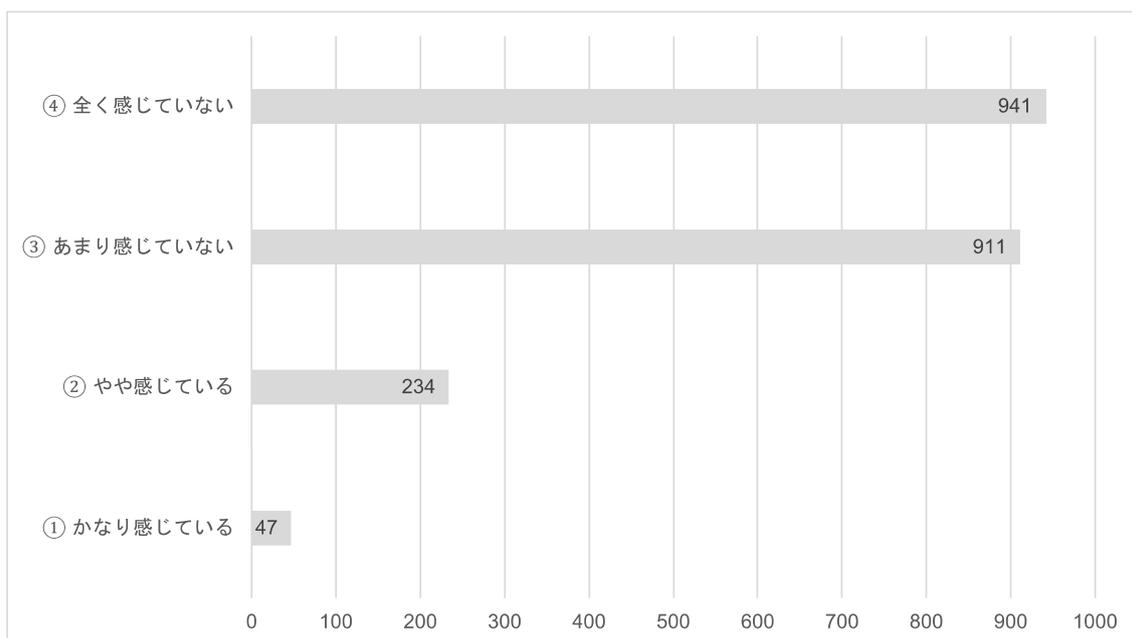
2.3. 新型コロナウイルス感染症の影響で感じた孤独・孤立感

質問内容：新型コロナウイルス感染症の影響で、現在、孤独・孤立感を感じていますか？

回答結果

回答者のうち最も多かったのが「④全く感じていない」で n=941 であった。

図表 26 回答 (n= 2,133)

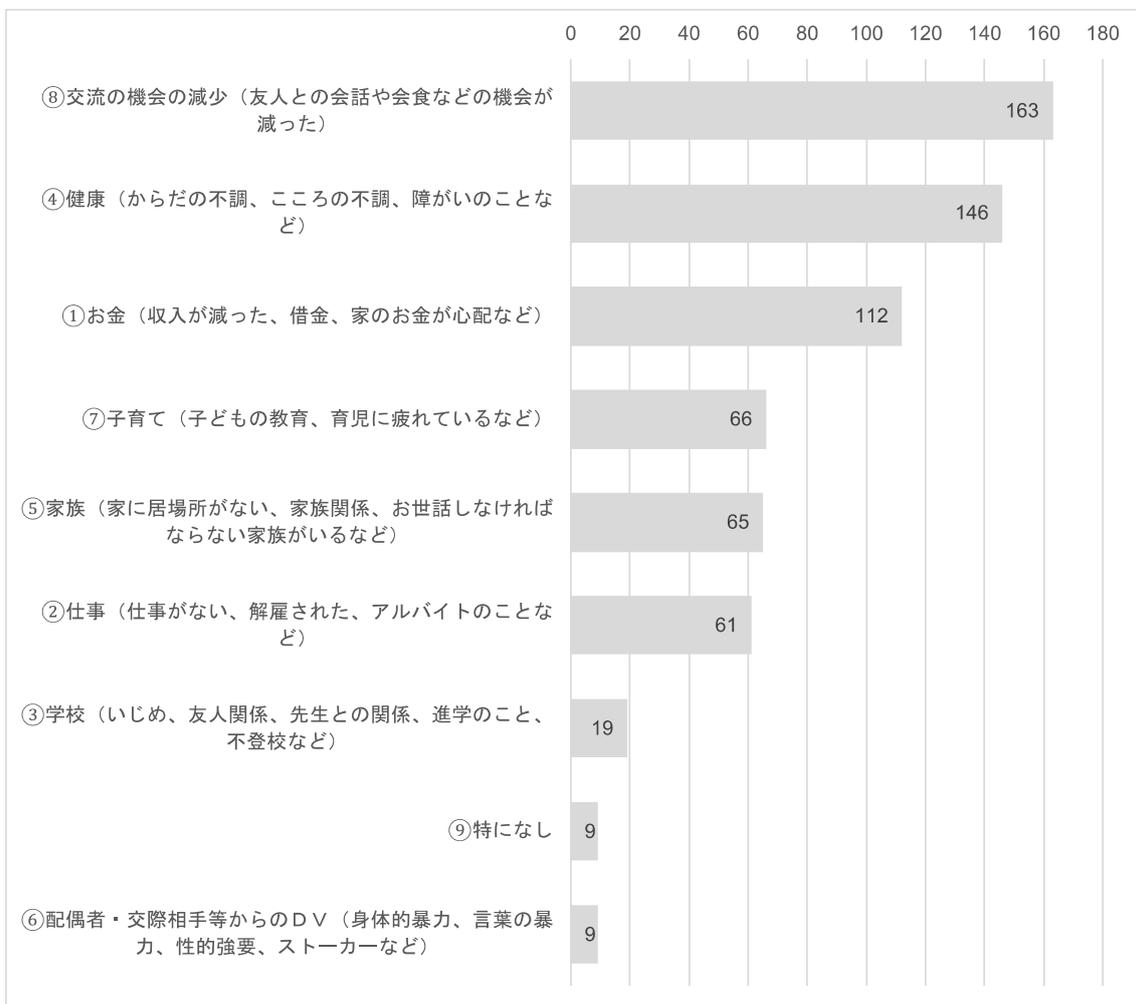


質問内容：「①かなり感じている」、または、「②やや感じている」を選択した方にお聞きします。孤独・孤立感を感じていることは何ですか？(複数回答可)

回答結果

回答者のうち最も多かったのが「⑧交流の機会の減少（友人との会話や会食などの機会が減った）」でn=163であった。

図表 27 回答 (n= 281)



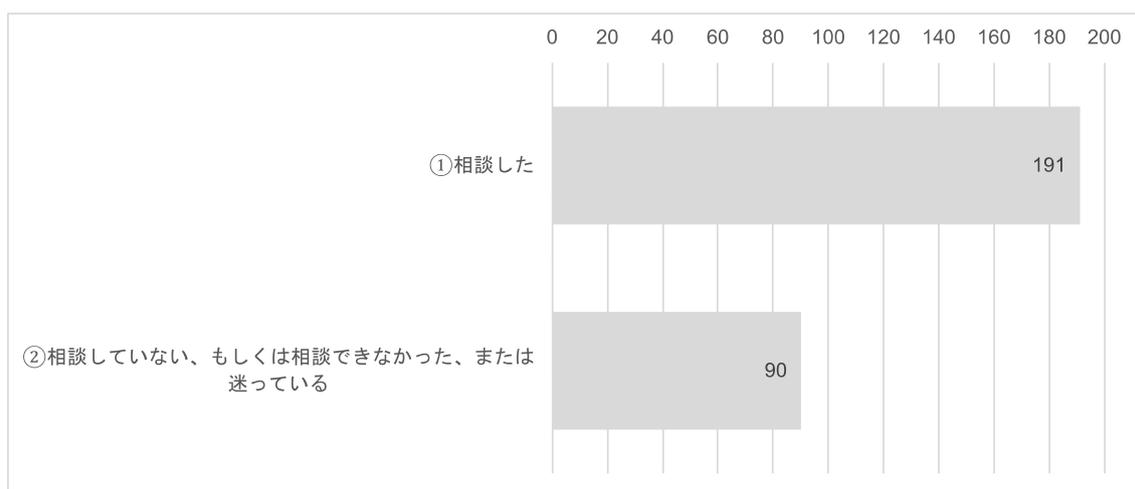
質問内容：「①かなり感じている」、または、「②やや感じている」を選択した

方にお聞きします。孤独・孤立感を感じた際に誰かに相談できましたか？

回答結果

回答者のうち多かったのが「①相談した」で n=191 であった。

図表 28 回答 (n= 281)

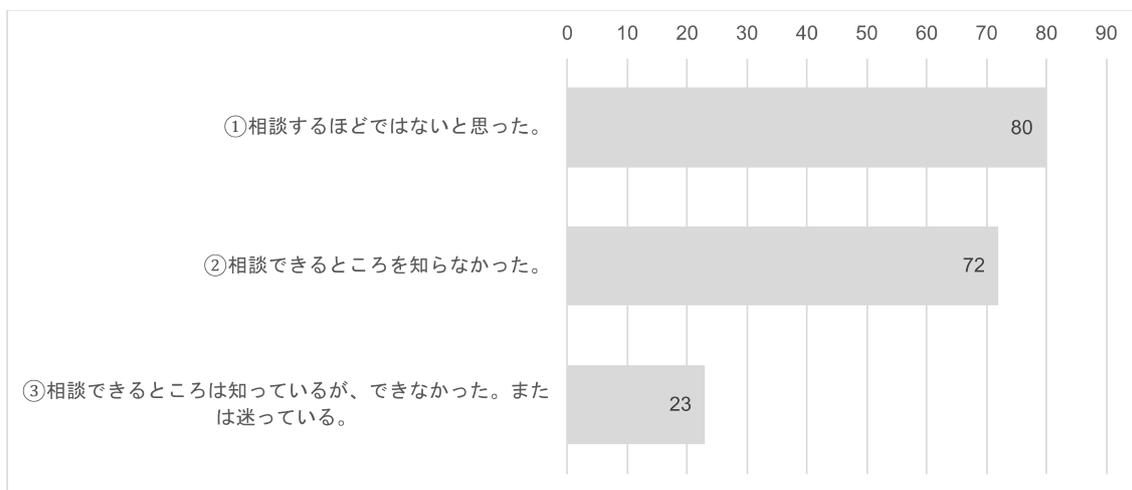


質問内容：「②相談していない、もしくは相談できなかった、または迷っている」を選択した方にお聞きします。その理由を教えてください。（選択肢・複数選択可＋自由記述）

回答結果

回答者のうち最も多かったのが「①相談するほどではないと思った。」で n=80 であった。

図表 29 回答 (n= 175)

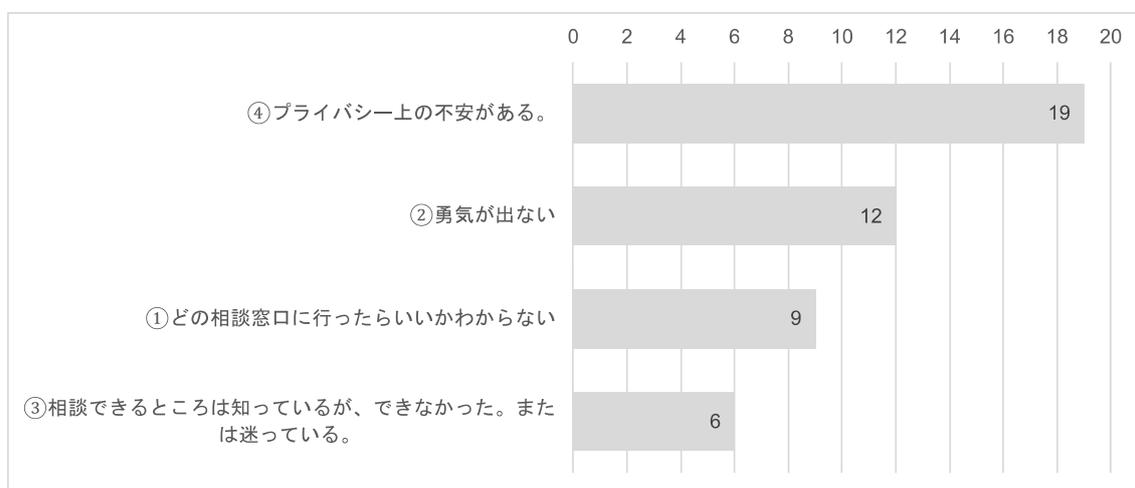


質問内容：「③相談できる場所は知っているが、できなかった。または迷っている。」を選択した方にお聞きします。その理由を教えてください。（選択肢・複数選択可＋自由記述）

回答結果

回答者のうち最も多かったのが「④プライバシー上の不安がある。」で n=19 であった。

図表 30 回答 (n= 39)



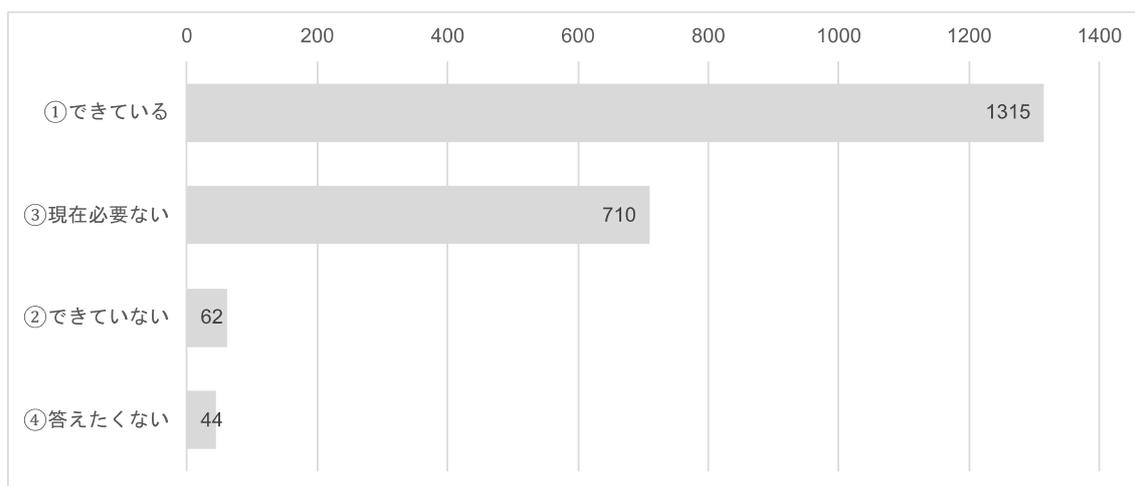
2.4. 生理用品・トイレに関するアンケート

質問内容：生理用品は必要な数量を購入できていますか。

回答結果

回答者のうち最も多かったのが「①できている」で n=1315 であった。

図表 31 回答 (n=2,133)

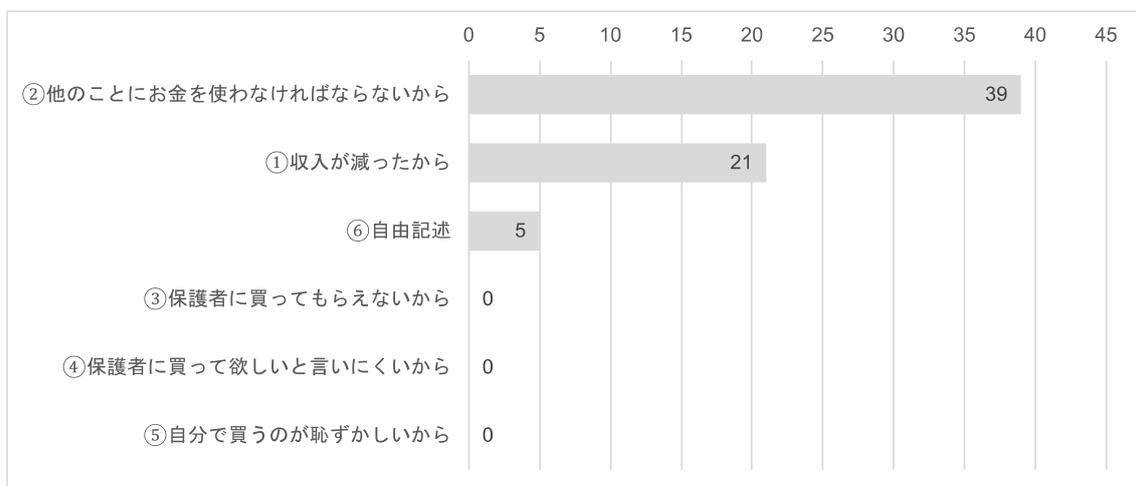


質問内容：「②できていない」を選択した方にお聞きします。その理由を教えてください。（複数回答可）

回答結果

回答者のうち最も多かったのが「②他のことにお金を使わなければならないから」で n=39 であった。

図表 32 回答 (n=65)

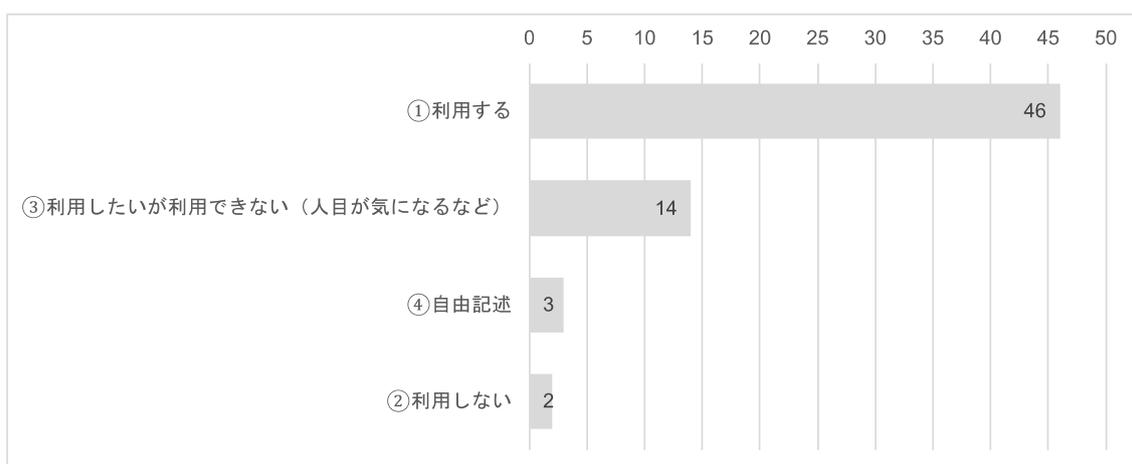


質問内容：「②できていない」を選択した方にお聞きします。本市が無料配布を行う場合、利用しますか。

回答結果

回答者のうち最も多かったのが「①利用する」で n=46 であった。

図表 33 回答 (n=65)

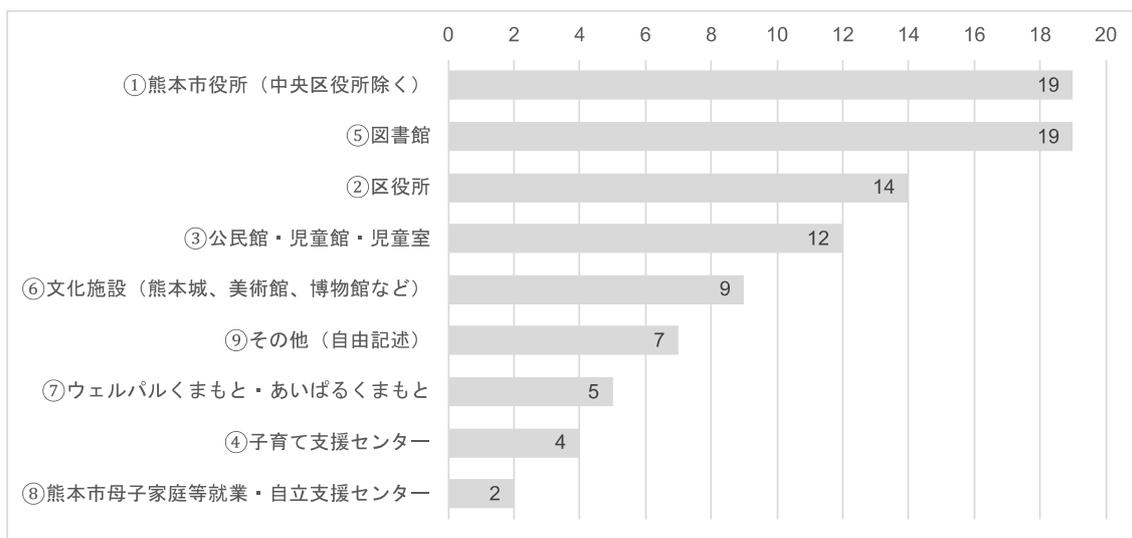


質問内容：「②できていない」を選択した方にお聞きします。よく訪れる熊本市の施設はどこですか。（複数回答可）

回答結果

回答者のうち最も多かったのが「①熊本市役所（中央区役所を除く）」で n=19 であった。

図表 34 回答（n=55）

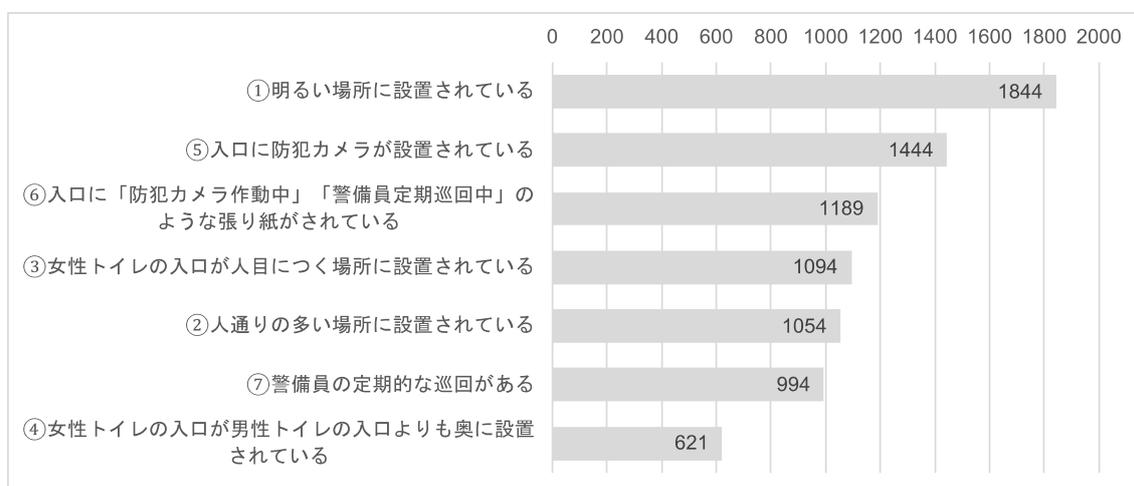


質問内容：本市では女性が安心して使える公共施設（屋内）のトイレについて考えています。次のうち、あなたが安心して使えると思うトイレはどれですか。あてはまるものをすべて選択してください。（複数回答可）

回答結果

回答者のうち最も多かったのが「①明るい場所に設置されている」でn=1844であった。

図表 35 回答（n=2,133）

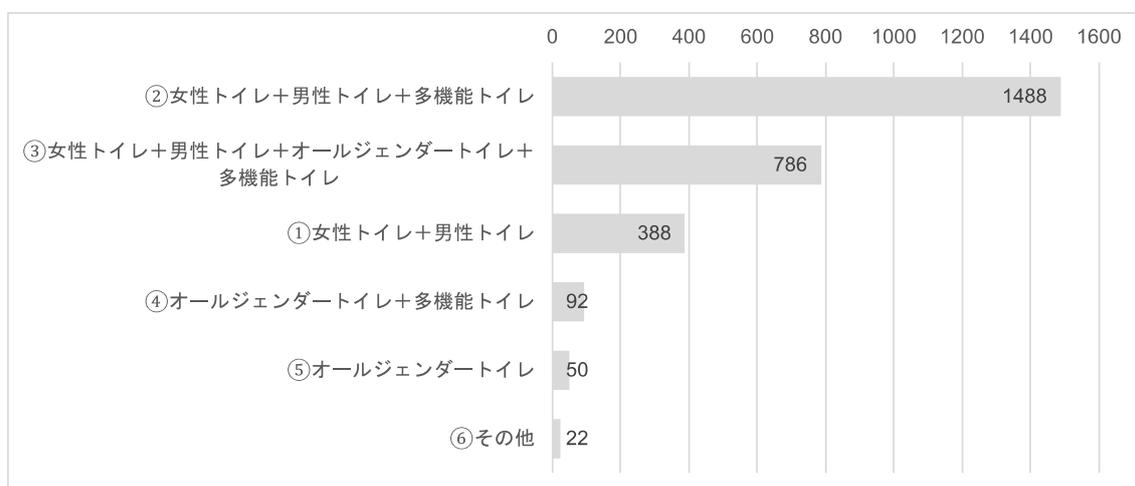


質問内容：次のうち、あなたが公共施設（屋内）でトイレを使うときに安心して使えると考えるトイレの設置パターンはどれですか。あてはまるものをすべて選択してください。（複数回答可）

回答結果

回答者のうち最も多かったのが「②女性トイレ+男性トイレ+多機能トイレ」でn=1488であった。

図表 36 回答 (n=2,133)



質問内容：次のうち、あなたが安心して使えると考えるトイレの入口の位置関

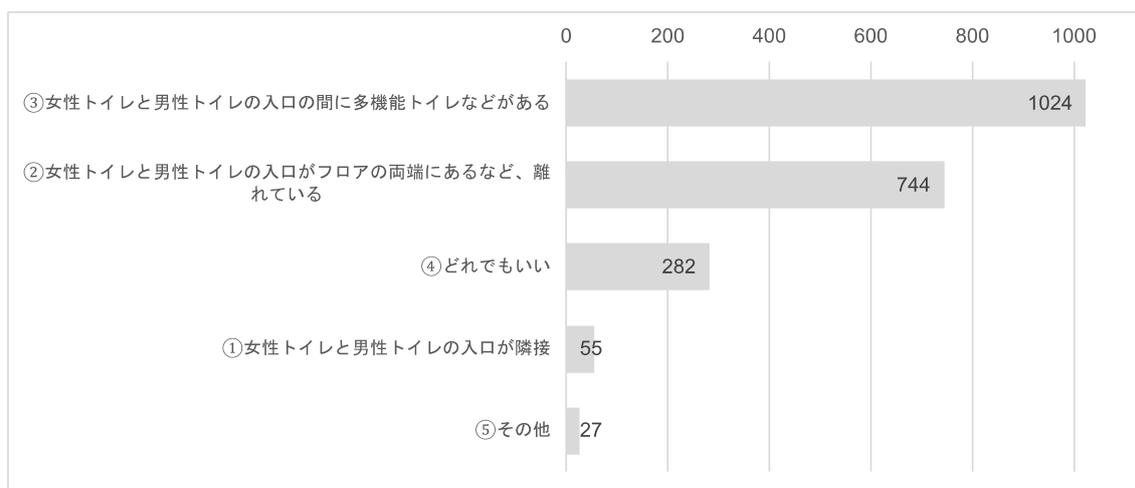
係はどれですか。あてはまるものをひとつ選択してください。

回答結果

回答者のうち最も多かったのが「③女性トイレと男性トイレの入口の間に多機

能トイレなどがある」で n=1024 であった。

図表 37 回答 (n=2,133)



第3章 アンケート結果のクロス集計

3.1. 分析方法について

クロス集計は、異なる項目間の関連を探る方法です。たとえば、孤独や孤立感についてのアンケートで、「最近、孤独や孤立感を感じるものがよくありますか?」という質問に対して、年齢や職業という別データを加えることで、どの年齢層や職業の人が孤独を感じやすいのか、その背景には何があるのかを掴みやすくなります。今回のアンケート調査で言うと、若い人たちと年配の人たちで感じ方が違うか、あるいは特定の仕事をしている人たちが孤立しやすい状況にあるかなど、詳しい傾向を見つけ出せることが予想されます。このような分析から、孤独や孤立感についての理解を深め、問題に対処するための有益な情報を得え、今後の活動に活かしていきたいと思います。

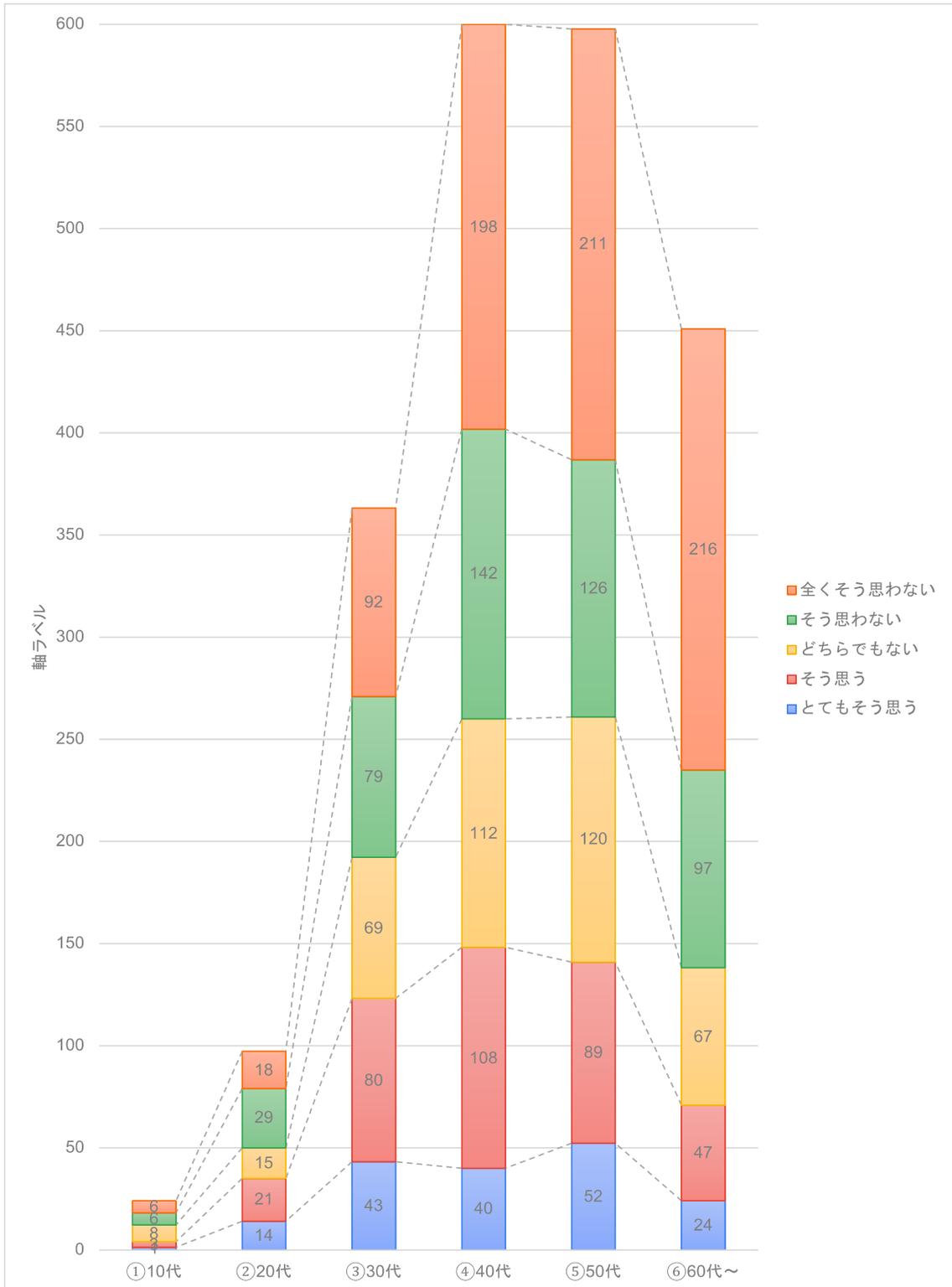
図表 38 分析項目

節	質問内容	分析項目
3.2.	孤独・孤立感に関するアンケート	年代別・職業別
3.3.	孤独・孤立感に関するアンケート	同居している子どもの年齢別
3.4.	孤独・孤立感に関するアンケート	母子父子家庭を選択した人の割合
3.5.	新型コロナウイルス感染症の影響で感じた孤独・孤立感に関するアンケート	年代別・職業別
3.6.	新型コロナウイルス感染症の影響で感じた孤独・孤立感に関するアンケート	同居している子どもの年齢別
3.7.	新型コロナウイルス感染症の影響で感じた孤独・孤立感に関するアンケート	母子父子家庭を選択した人の割合

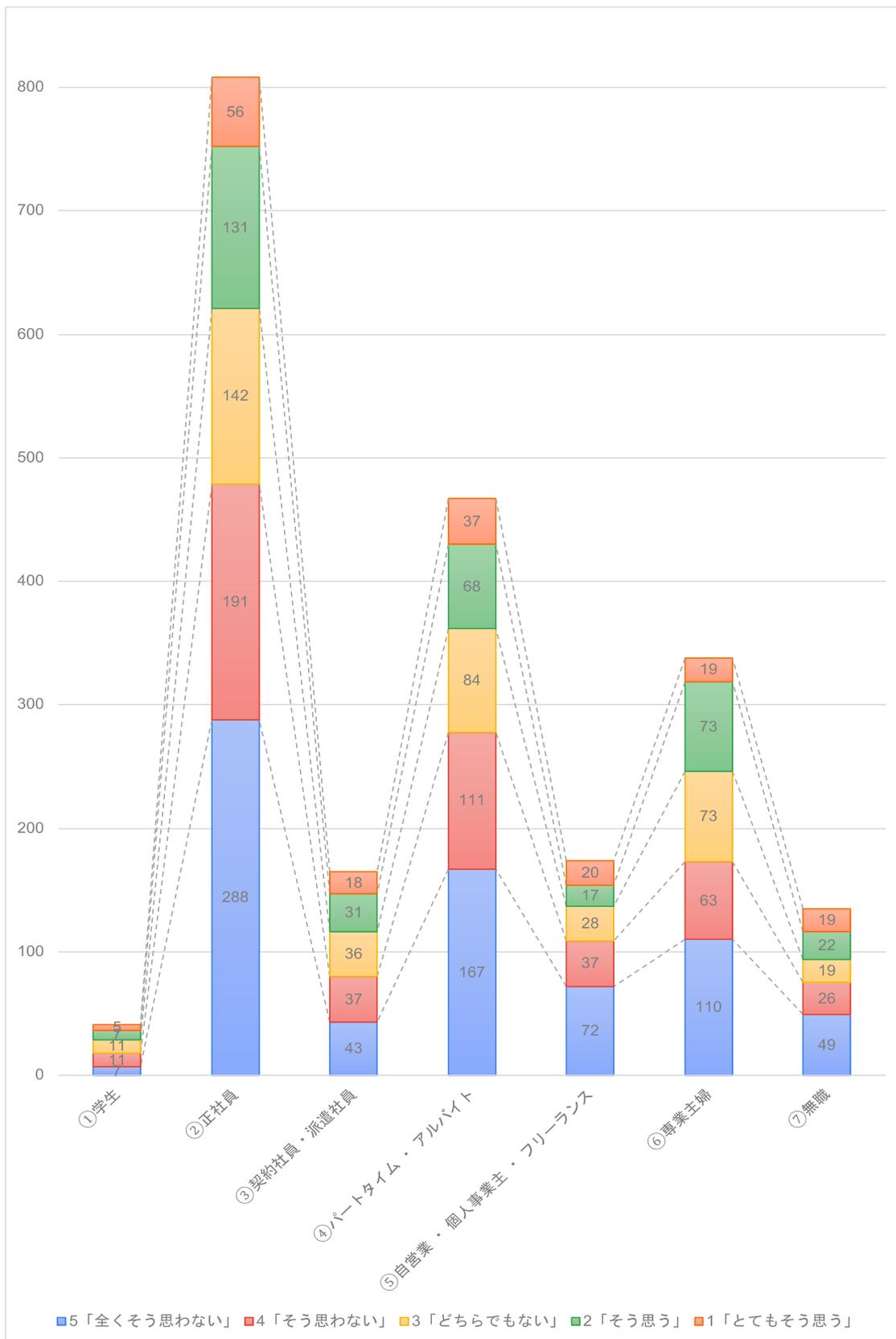
3.8.	生理用品の購入に関して	年齢別・職種別
3.9.	生理用品の購入に関して	母子父子家庭を選択した人の割合
3.10.	生理用品の無料配布を利用したいが利用できないひと	年齢別・職種別
3.11.	生理用品を必要数購入できていないひとで、よく訪れる施設	年齢別

3.2. 孤独・孤立感に関するアンケート（年代別・職業別）

図表 39 Q1: 最近、孤独・孤立感を感じる事がよくありますか？の年代別の回答
(n= 2,133)



図表 40 Q1: 最近、孤独・孤立感を感じる事がよくありますか?の職種別の回答
(n=2,128)



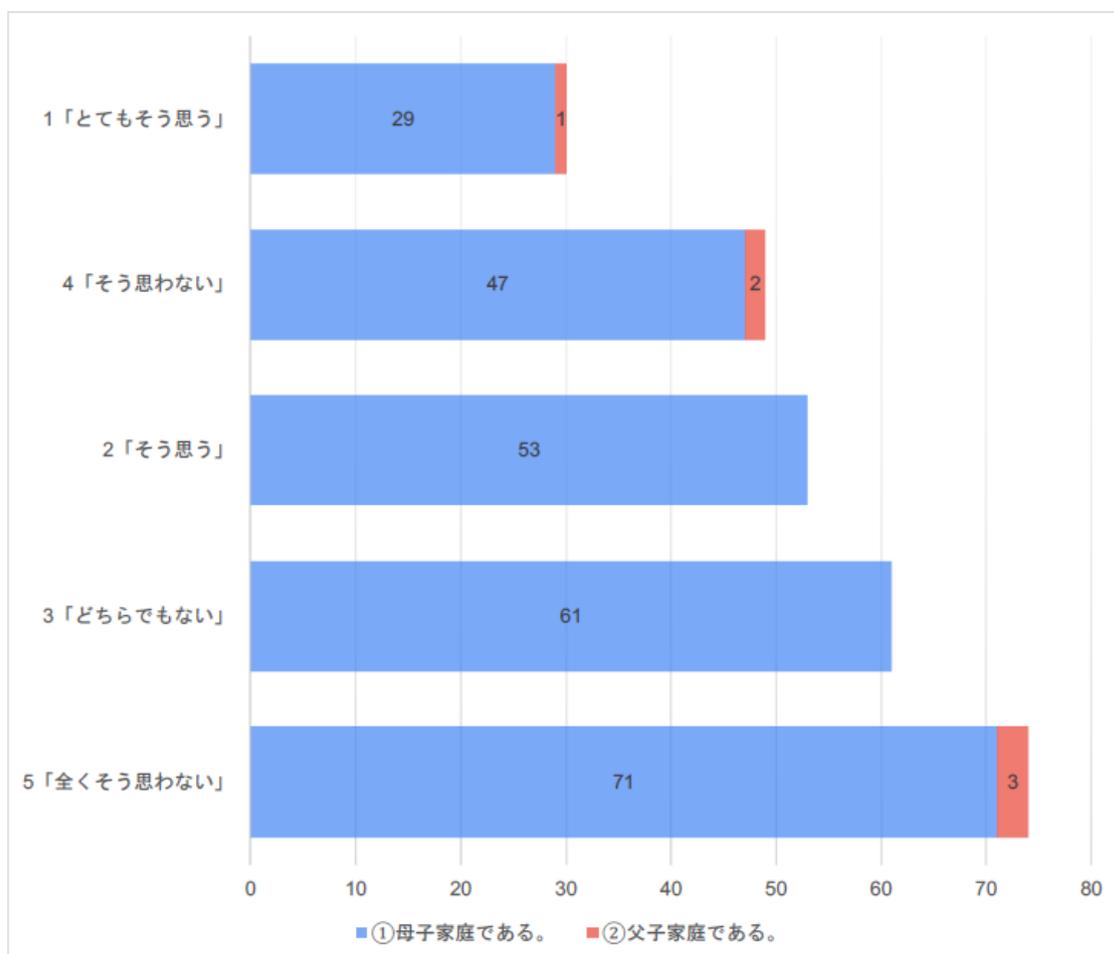
3.3. 孤独・孤立感に関するアンケート (同居している子ども年齢)

図表 41 Q1: 最近、孤独・孤立感を感じる事がよくありますか?の回答の内
子供も同居している人の子供の年齢 (n=1095)



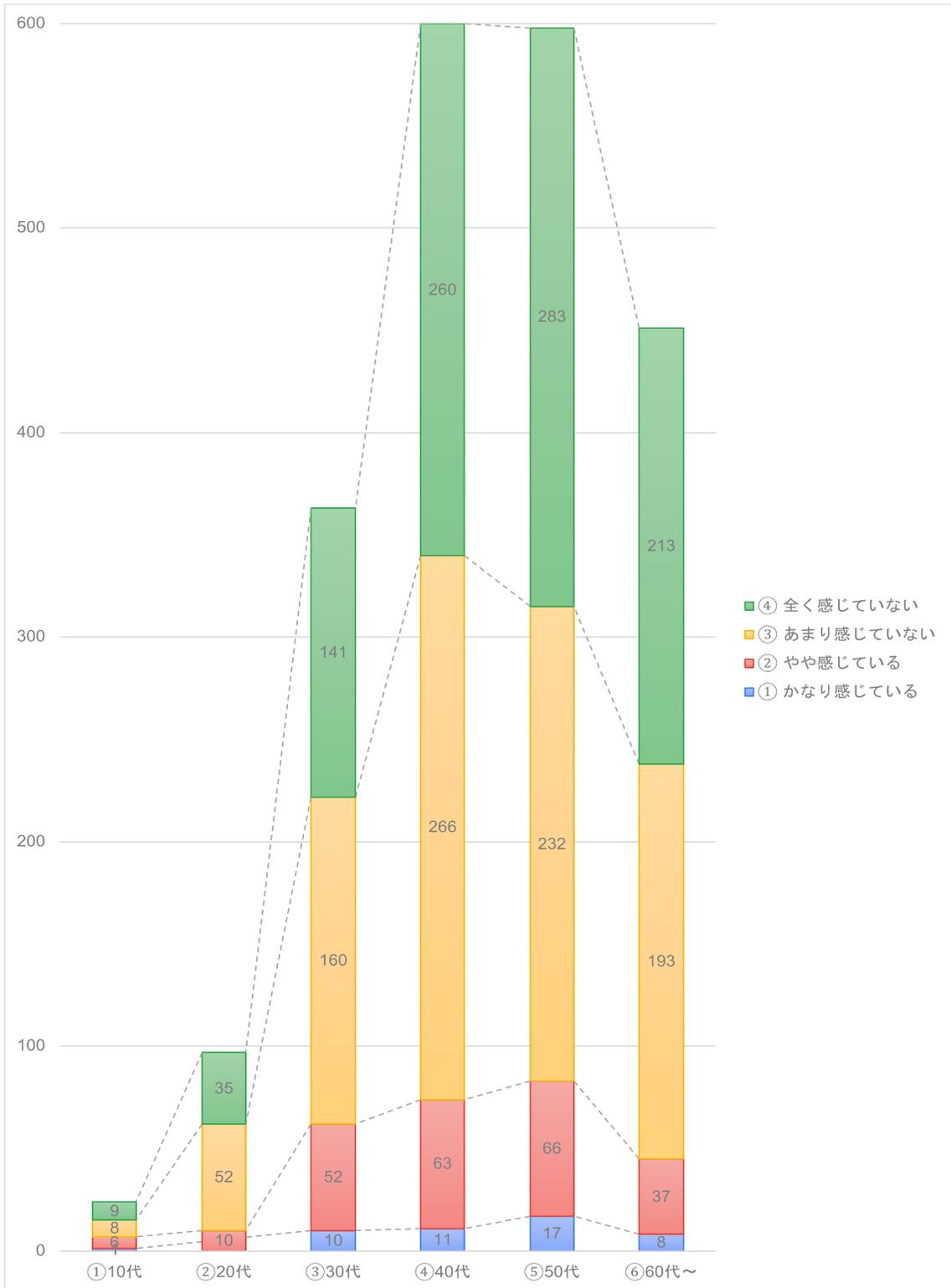
3.4. 孤独・孤立感に関するアンケート（母子父子家庭）

図表 42 Q1: 最近、孤独・孤立感を感じる事がよくありますか？
の回答の母子父子家庭を選択した人の割合（n= 267）



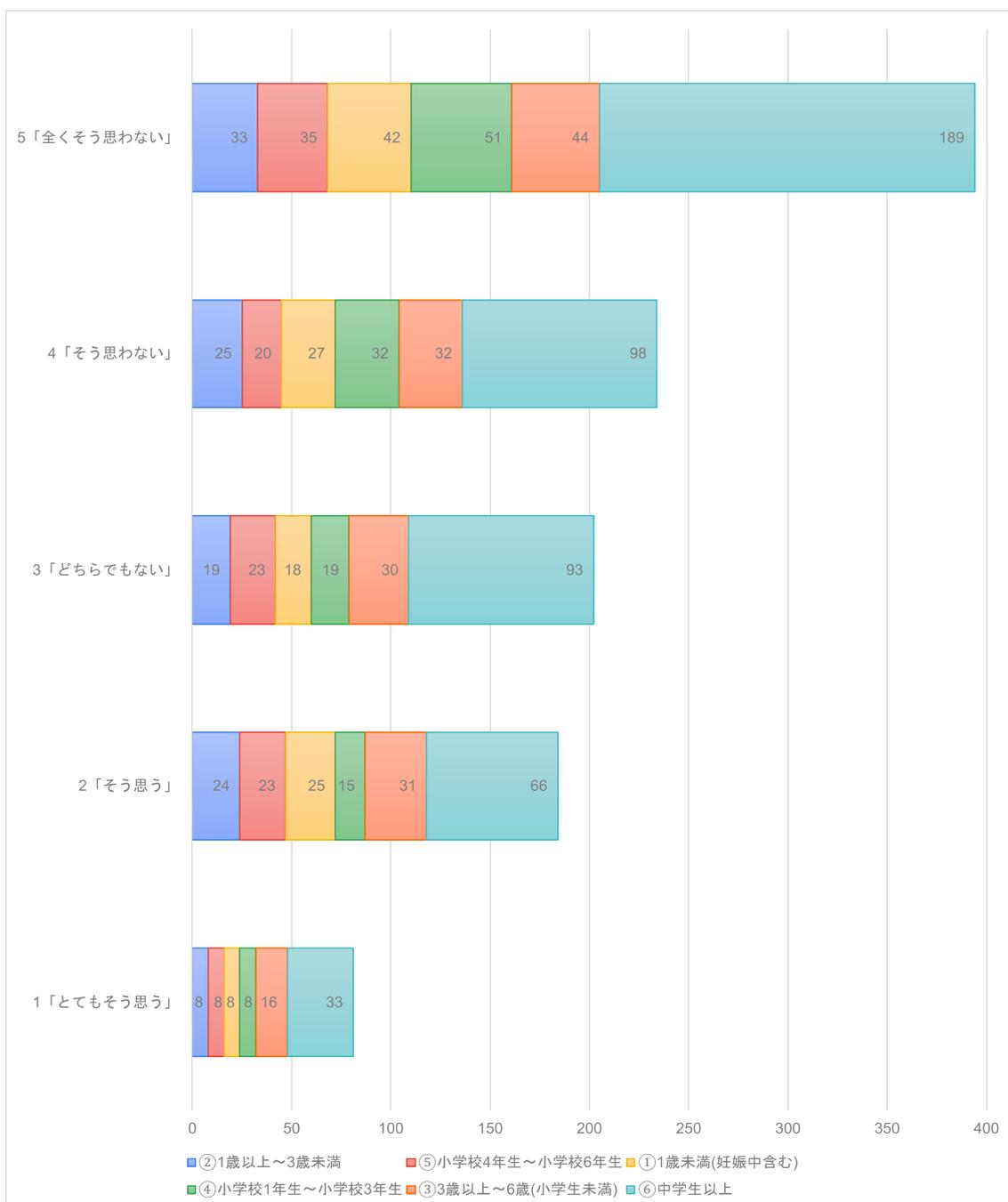
3.5. 新型コロナウイルス感染症の影響（年代別・職業別）

図表 43 新型コロナウイルス感染症の影響で、現在、孤独・孤立感を感じていますか？
の年代別の回答（n= 2,133）



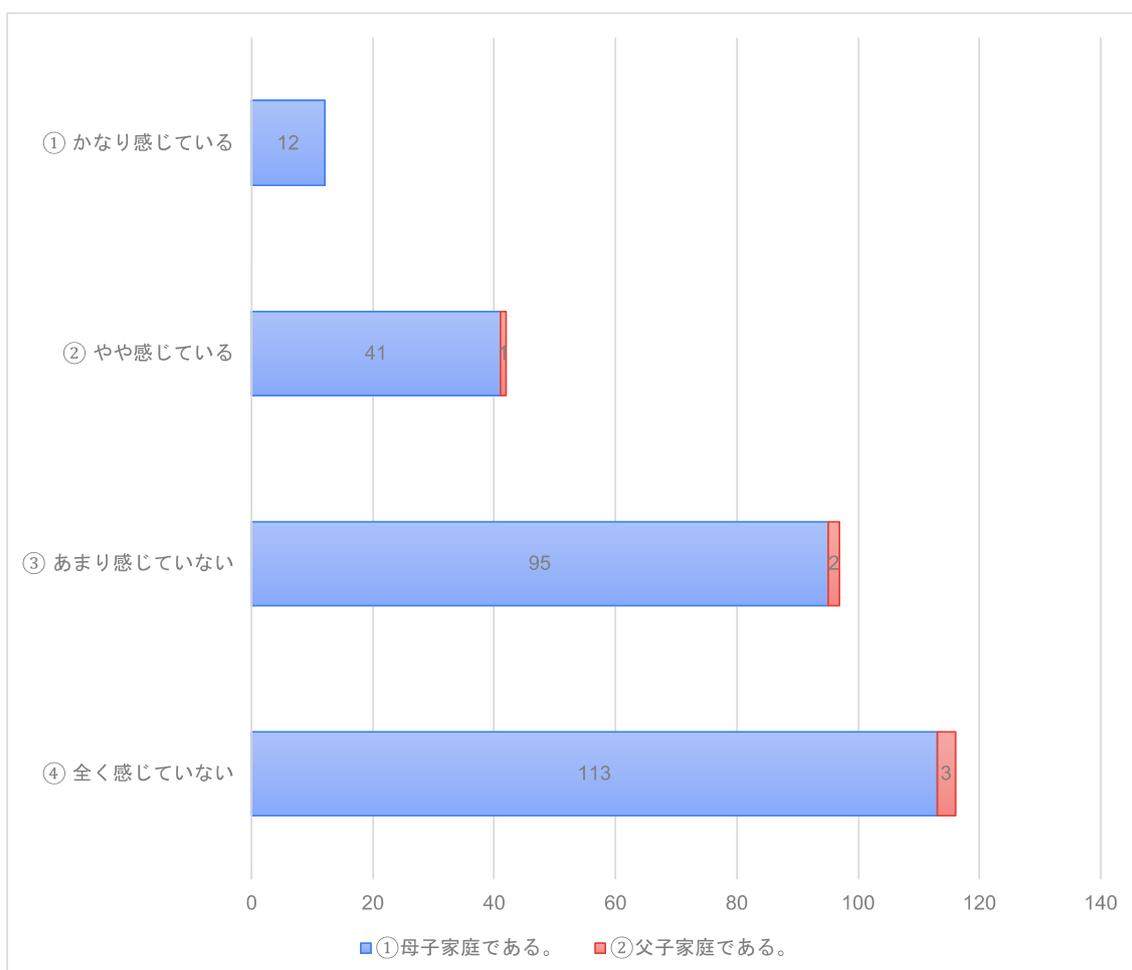
3.6. 新型コロナウイルス感染症の影響（同居している子どもの年齢別）

図表 44 新型コロナウイルス感染症の影響で、現在、孤独・孤立感を感じていますか？
の回答の内子供も同居している人の子供の年齢（n=1095）

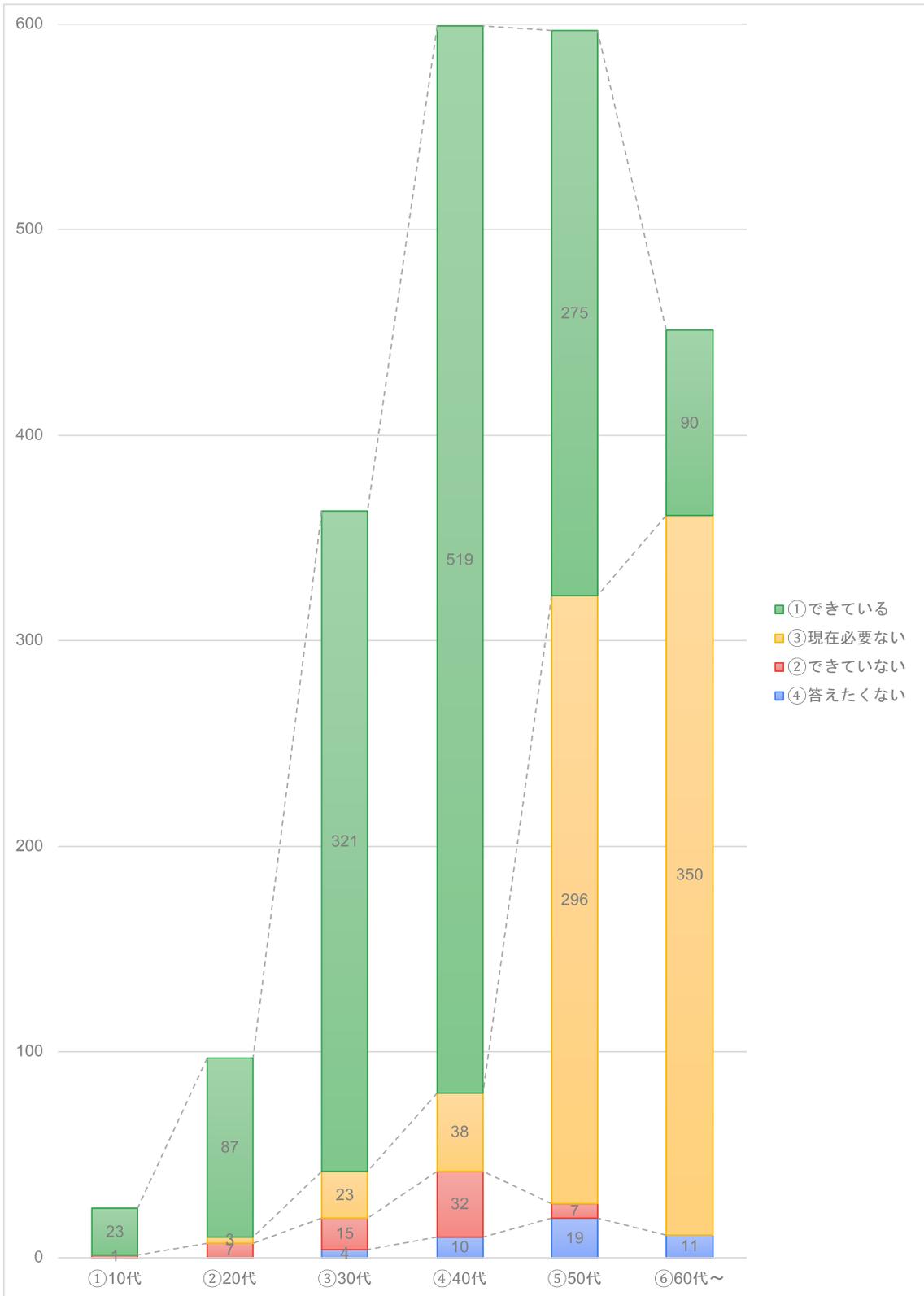


3.7. 新型コロナウイルス感染症の影響（母子父子家庭）

図表 45 新型コロナウイルス感染症の影響で、現在、孤独・孤立感を感じていますか？
の回答の母子父子家庭を選択した人の状況（n= 2,133）



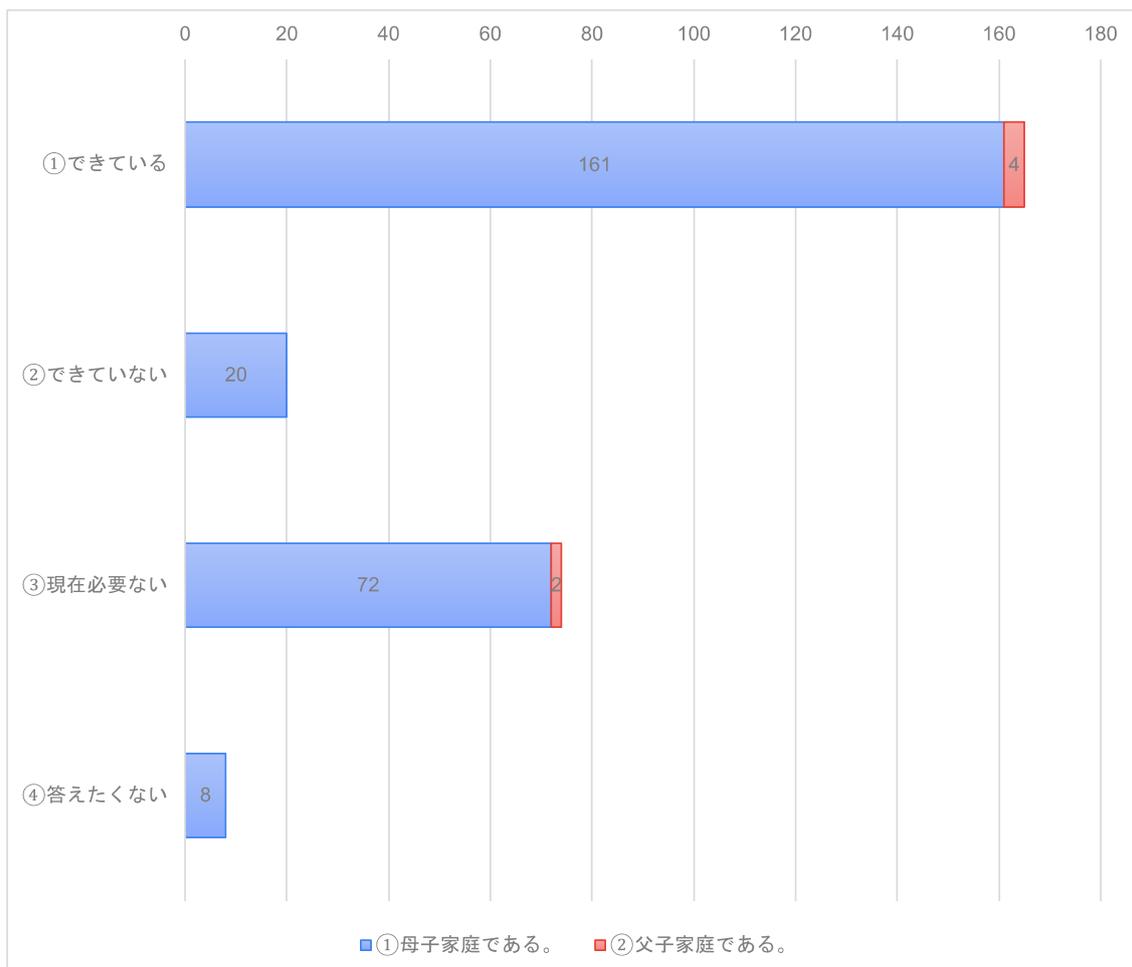
3.8. 生理用品に関して（年齢別・職種別）



図表 46 生理用品は必要な数量を購入できていますか？の年齢別の回答 (n= 2,133)

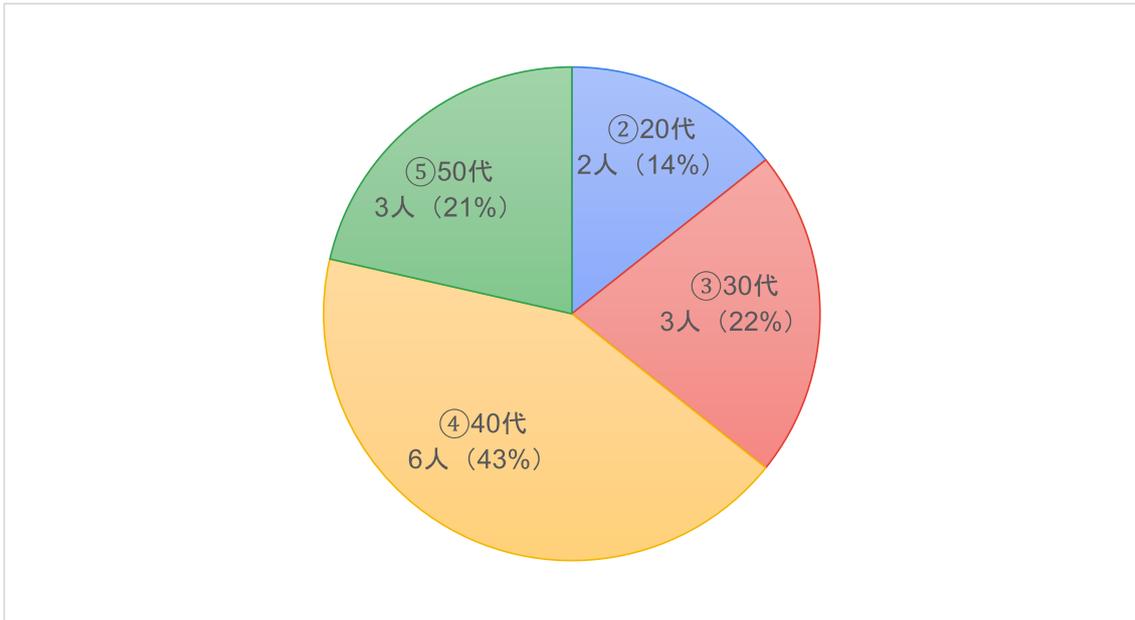
3.9. 生理用品に関して（母子父子家庭を選択した人）

図表 47 生理用品は必要な数量を購入できていますか？
の回答の内、母子父子家庭を選択した人の状況（n=261）

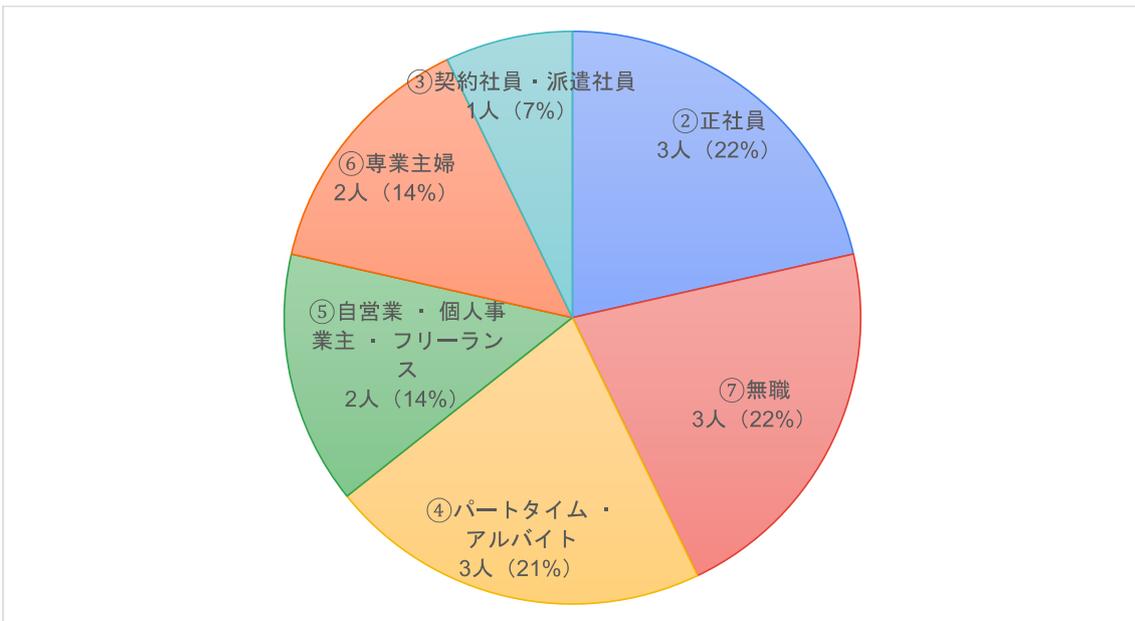


3.10. 生理用品の無料配布を利用したいが利用できないひと（年齢別・職種別）

図表 48 生理用品の無料配布を利用したいが利用できないひとの年代別（n= 14）



図表 49 生理用品の無料配布を利用したいが利用できないひとの職種別（n= 14）



3.11. 生理用品を必要数購入できていないひと、よく訪れる施設（年齢別）

図表 50 生理用品を必要数購入できていないひとで、よく訪れる施設の年代別（n= 84）

